

稲作情報

No.1 : 土づくり特集

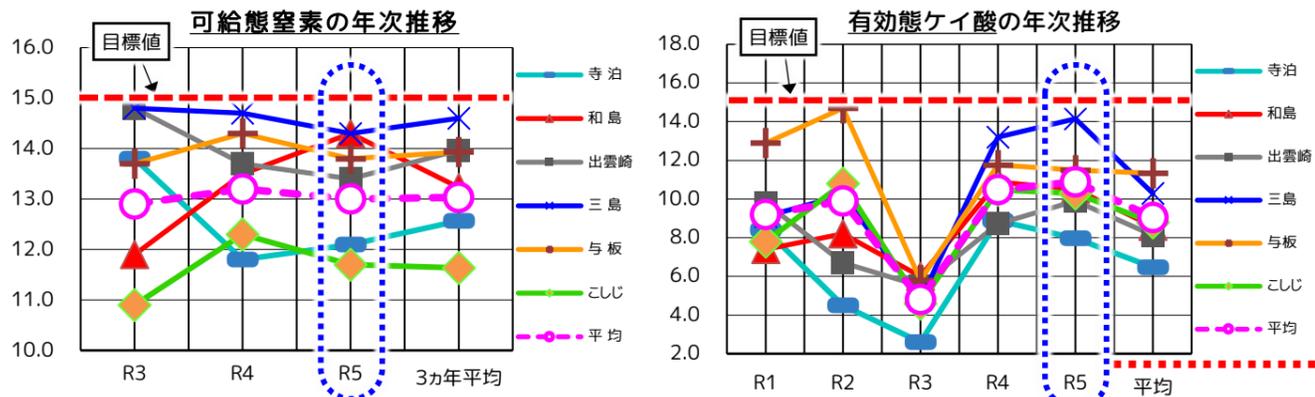
J A えちご中越 さんとう営農センター
TEL : 0258 (41) 2887

令和 7年 3月 10日

異常気象に備えた「丈夫な稲づくり」

土づくりの徹底と深耕で品質向上↑・収量アップ↑↑

1. さんとう管内の土壌分析結果



高温気象の常態化により、水稻の成長と玄米の登熟に必要なさまざまな栄養成分の吸収が旺盛になっています。これに対して、必要な栄養成分の補給量（土づくり+基肥・穂肥）が追いつかず、登熟期間に「栄養凋落」を招いて玄米品質の低下と安定収量の確保に大きな影響を及ぼしています。

特に、土壌の持つ“地力”を示す値の可給態窒素は、管内全地区 平均：13.0 mgで改良目標値：15mgを下回る結果となり、「地力低下」が顕著となっています。また、有効ケイ酸についても土壌からの溶脱や靱がらに含まれてほ場外へ持ち出されることで減少し続け、目標値を下回っています。

2. 土壌分析結果にもとづく「土づくり対策」

その①：有機質の施用で「地力の増進」を図りましょう!!

昔から「稲は地力で、麦は肥料でとれ！」と言われていたように、水稻はたい肥や有機質の施用による土づくりを基本とした栽培が重要な作物で、これは玄米収量の70~80%が地力窒素で生成されることに所以しています。

◆ そもそも「地力の高い水田」とは、次の3点の要素を満たしている水田となります。

① 適量の窒素が発現する	* 8~10mg/100gあたり
② 作土層が十分確保されている	* 作土層：15cm程度
③ 保肥力（肥持ち）が高い	* 透水性が良好、* 腐植（有機物）が豊富

激しい気象変動下でも玄米登熟に必要な栄養分を供給できる地力の向上を図るために…
まずは、たい肥やケイフン等の有機質資材を投入することで稲作期間を通じて「適量の窒素が発現する“土づくり”」をスタートするのじゃ!!



「土づくりと深耕」で「気象変動に備えた丈夫な稲づくり」をスタートしましょう!!

その②：ケイ酸質の施用で「高温気象に強い稲づくり」に取り組みましょう!!

【昔話】：イネを形成する成分の10%（理想は13%以上）を占める「ケイ酸質」。ケイ酸が不足するとイネが軟らかくなって倒伏したり、病害虫の被害を受けやすくなり、食糧増産の時代から米づくりの重要な肥料として「ケイカル等を用いた土づくり」が盛んに行われてきました。

【現況】：資材の高騰や経営規模の大型化 等により生産コストの削減や省力化が進められ、米づくりに最も重要な土づくりやケイ酸資材の追肥が休止・省略されてきています。

結果として、管内土壌の有効態ケイ酸の平均値は10.9mgで「改良目標値：15mg」を大きく下回っています!!

どれくらいケイ酸成分の施肥・補充が必要なの???

◆ ケイ酸成分の「供給と消費」の流れ (10aあたり)

①収入（供給）	* 用水からの流入	30kg	90kg
	* 稲わらのすき込み	60kg	
②支出（消費）	▲ 水稻による吸収	100kg	130kg
	▲ 土からの溶脱	30kg	
差引（不足）	①-②	④ 補充が必要なケイ酸成分量	▲40kg

例：「ケイ酸平均値：10mg」の土壌から期待できるケイ酸成分の供給量は10kg/10a程度とすると補充が必要なケイ酸の施肥量は30kg!!
→32%のケイ酸成分を含有する肥料で10aあたり100kgの施肥が必要となります!



「10aあたり100kgの肥料散布は労力もコストもたいへん!!」

→そこでAでは「ニューミスター」の散布を推奨しています。不足しているケイ酸成分を補い水稻の高温耐性を高めるとともに、含有するアルカリ成分によりpHの中和が図られます。また、酸性が苦手な微生物の活性が高まることで稲わらの分解も活発になります。

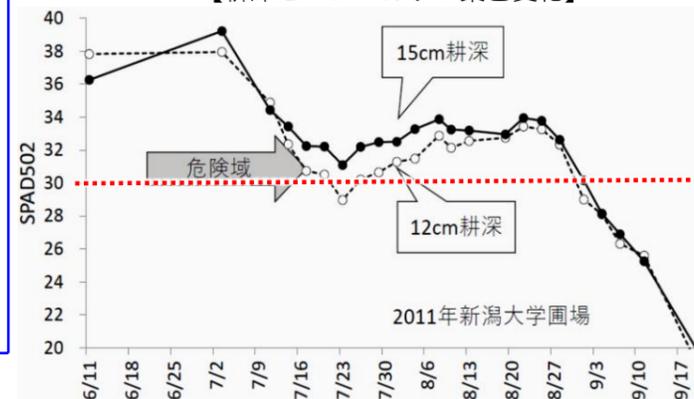
「10aあたり30kg」を目安に散布してください!!

その③：根域拡大で登熟向上↑↑「耕深15cm」を確保しましょう!!

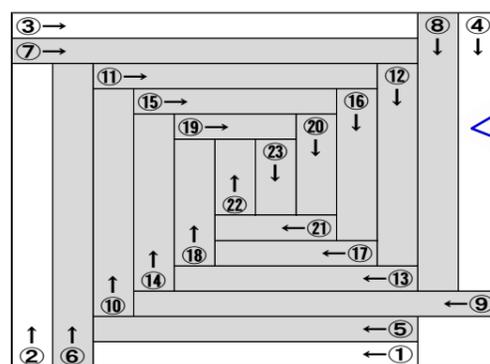
右のグラフは、土壌の深さの違いによるコシヒカリの葉色変化を表しています。「12cmの浅耕」では、生育指標の目安とされる出穂期の葉色値30を下回っていますが、「15cmの深耕」では葉色値30以上をキープしています。

これは、少し耕深を深くすることで深層まで根域が広がり、根が気温（高温）の影響を受けにくくなることと、土壌からの養水分吸収が活性化し、品質・収量の安定につながることを示しています。

【耕深とコシヒカリの葉色変化】



【トラクターの回り耕ちによる深耕】



左図のとおり①から順に「時計回り」で耕うんすることにより、トラクターのチェーンボックスが土中に入りやすくなることで深く耕すことが出来ます。「耕深15cm」を目標に深耕に取り組みましょう!!
深くなりやすい枕地も傷めずに耕せますよ!!

裏面せり覽てさい!!

注意 「令和6年産 水稻種子」情報 **注意**

「浸種と種子消毒」は慎重・ていねいに!!

令和6年産の水稻種子

令和7年播種用「コシヒカリ BL」は休眠がやや深い（県情報）と推察されています。

- ◆1 休眠の深い特性のある品種は「ていねいな浸種・催芽」を心がけましょう!
- ◆2 発生するとやっかいな「ばか苗病・いもち病」→「温湯消毒+薬剤処理」を徹底しましょう!

◆1 コシヒカリ・五百万石の種籾は、休眠の深い特性があることから… “ていねいな浸種・催芽”を心掛けましょう!!

① 適切な浸種水温のめやす = 浸種温度 12℃

品 種	浸種温度 × 浸種日数	積算温度
コシヒカリ BL	12℃ × 10日間	120℃
新之助・こしいぶき	12℃ × 8~9日間	100℃

ていねいに浸種されて十分に吸水した種籾は「籾殻が透きとおったアメ色」になるのじゃ!!



- ② 浸種初期の低水温「10℃未満」は、発芽のそろいを悪くします。特に浸種初期は、水温10℃未満の低水温とならないよう例年以上に注意してください。
- ③ 浸種期間は酸素不足にならないよう十分な水量（種子籾容量の2倍程度）を確保し、水の更新を適切に行ってください。（水交換は1日おき、浸種中に2回水切りの実施）
- ④ 浸種水槽に直射日光が当たらないよう屋内等で浸種してください。

◆2 ゆきみらいの浸種～出芽・緑化の際には特に注意しましょう!!

令和5年と令和6年に、県内の一部地域で発芽不良が確認されています。育苗の際には以下の点にご留意ください。

- ① 発芽・苗立・苗質を安定して良好にするため、浸種水温は12~15℃としてください（浸種温度が10℃以下になると、発芽不良が頻発します）。
- ② 育苗ハウスでの出芽～緑化時に低温に遭遇しないよう、温度管理に注意してください。

◆3 越淡麗の浸種・催芽の際も注意しましょう!!

令和7年用越淡麗種子は、例年と同様に備蓄種子（令和5年産）となります。以下の点にご留意ください。

- ① 越淡麗の種子消毒は温湯消毒を避け、薬剤消毒（テクリードC等）を実施してください。
- ② 越淡麗の浸種水温は10~15℃、浸種日数5日程度を目安としてください（初期の浸種温度が低い場合や浸種日数が長すぎる場合に発芽率が低下する傾向が見られます）。
- ③ 催芽は、発芽状況をこまめに確認しながら伸ばしすぎに注意してください。

◆4 温湯消毒+微生物農薬の併用で「ばか苗病」の発生を防止しましょう!!

- ① 近年、ばか苗病の発生が多くなっています。
- ② ばか苗病は、発生してしまうと薬剤で防除する方法がありません。“適正な種子消毒の徹底”により「発病させない」ことが重要となります。
- ③ 温湯消毒のみの場合、化学合成農薬による種子消毒に比べて防除効果が劣ります。必ず、微生物農薬（タフブロック）と組み合わせた「体系処理」により、防除を徹底してください。
- ④ 種子籾の保管は、雑菌の付着防止の観点から、きれいなシートの上で保管してください。



ばか苗病やいもち病の「感染源」となる稲わらや籾殻は、育苗ハウス内・近辺から撤去するのじゃ。また、育苗床土へのくん炭混和や育苗時の敷材としての使用も避けるのじゃ!!

《お知らせ》令和7年は播種用コシヒカリ BL の品種構成が変更になります!

◇コシヒカリ BL は、いもち病の抵抗性が異なる数種類の品種を混合して栽培することで、**いもち病の発現抑制効果を発揮し、その効果を安定して維持**するため計画的に品種構成を変えており、**令和7年より以下の構成に変更**となります。

令和4~6年コシヒカリ BL の品種構成（配合割合）

1号：2号：4号：13号
(10%) (20%) (35%) (35%)

令和7年からのコシヒカリ BL の品種構成（配合割合）

1号：2号：3号：11号
(10%) (20%) (35%) (35%)

【参考】コシヒカリ BL の形質特性について

品種名 形質	コシヒカリ 新潟 BL1号	コシヒカリ 新潟 BL2号	コシヒカリ 新潟 BL4号	コシヒカリ 新潟 BL13号	コシヒカリ 新潟 BL3号	コシヒカリ 新潟 BL11号
出穂期（月・日）	7.31	8.1	7.31	8.03	7.31	8.05
成熟期（月・日）	9.10	9.10	9.09	9.09	9.10	9.12
稈長（cm）	91	93	91	91	91	92
穂長（cm）	18.6	18.5	18.3	17.9	18.6	18.9
穂数（本/m ² ）	400	406	384	368	399	380
倒伏抵抗性	極弱	極弱	極弱	極弱	極弱	極弱
耐病性 葉いもち 穂いもち	やや弱 やや弱	中 やや弱	罹病性のあるいもち菌が 優占せず判定不能			

（作物研究センターでの試験結果）

▷品種ごとに形質特性に差異がありますが、『新潟 BL4号・13号』から『新潟 BL3号・11号』への品種構成変更による倒伏抵抗性や耐病性等の形質への変化はほとんど無いと考えられます。

営農情報のお問い合わせは、
お気軽に最寄りの営農センターへ!!



稲作情報

No.2 「健苗育成」

JAえちご中越 さんとう営農センター
TEL: 0258 (41) 2887

令和 7年 3月19日

水稲栽培のはじまりは健苗育成「苗半作の精神」でスタートダッシュ!!

「苗半作」とは…?

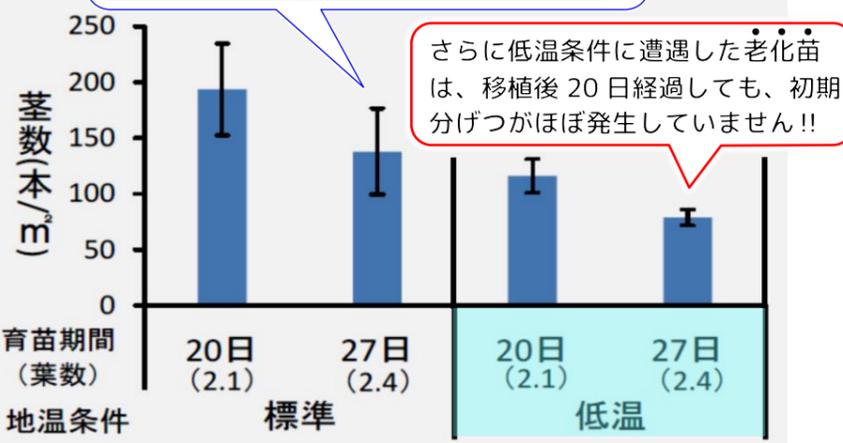
古来より水稲栽培においてよく使われる「格言」です。苗を育てる「育苗作業」が、稲を育てる工程の半分を占める重要な作業であるという意味。また、苗の良・否が作物の成長や収穫の良し悪しまで影響することを表している言葉です。

「苗半作の精神で苗作りに取り組んだから今年の稲作は品質も収量もバッチリだ!!」

健苗育成には「育苗期間の設定」が重要なジャ!!

なえはんざく

健苗(20日苗)に比べて育苗日数が長くなった苗 = 「老化苗」は初期分げつ(移植後20日)の発生本数が30%少なくなります!!



さらに低温条件に遭遇した老化苗は、移植後20日経過しても、初期分げつがほぼ発生していません!!

【図】 稚苗の育苗期間が分げつの発生に及ぼす影響
* 新潟県水稲栽培指針より引用(移植20日後調査)

異常気象に負けるな!! 「丈夫な稲づくり」のスタートは「健苗育成」から!!

1. 水稲育苗の準備を始めましょう!!

TACが育苗ハウスにお伺いします。お気軽にお声がけください!!

(1) 育苗ハウスの準備

- ◇1 いもち病やばか苗病の感染源となる稲わらや籾殻は、育苗ハウス内・近辺から除去しましょう。また、育苗床土へのくん炭混和や育苗時の敷材としての使用は避けましょう。
- ◇2 ビニールを早めに張ることでハウス内を乾かすとともに、地温を高めておきましょう。

(2) 育苗資材の準備

育苗期の高温や播種回数の増加によって生じる高温対策が重要ジャ!! 各被覆資材の特性を理解した上で、適切な育苗管理に努めるのジャ!!

① 被覆資材

資材名	保温性	保水性	遮光性	使用上のポイント
トーカーほなみ(加温育苗向け)	○	◎	○	高温晴天時の床土温度上昇を抑制し、苗ヤケしにくい。適度な水分を保持する、軽量で耐久性◎
ミラシート	○	○	△	使用年数により保温性・保水性が低下する。外気温が25℃以上になると苗ヤケリスクが増大する。
太陽シート(無加温育苗用)	△	◎	◎	高温晴天時の温度上昇を抑え、ハウス換気が不要。△低温時の発芽揃いに難あり → 二重被覆が必要

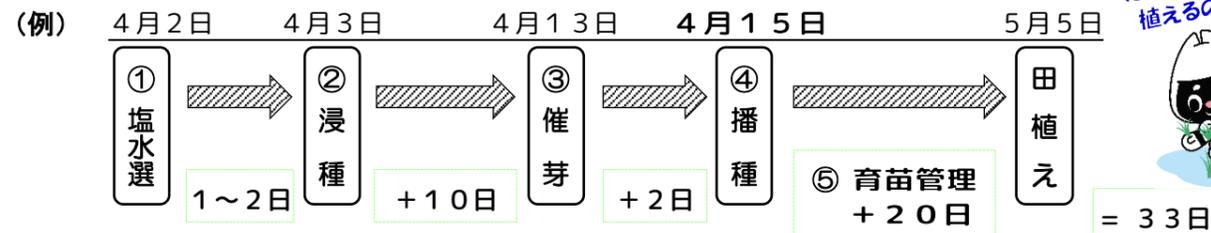
- ※ 外気の影響を受けやすい所や成長が遅れている苗には「サイドほっとネット」を活用して下さい。
- ※ 被覆資材の劣化は、保温・保水性の低下による「苗ヤケ・発芽不良・生育不揃い」の発生を助長してしまいます。→ 定期的(3年~5年以内)に更新して下さい。

② 育苗資材の消毒

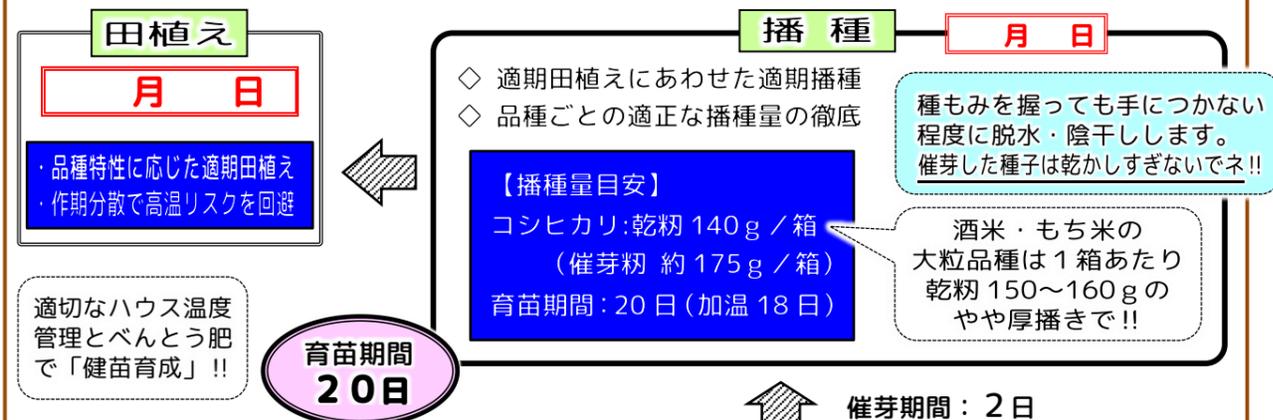
薬剤名	散布時期	留意事項
イチバン	“土つめ前”(育苗箱、出芽室、被覆資材の消毒)	① 作業場などを清潔にしてから作業する。 ② イチバン(500~1000倍希釈液)の散布は資材が十分に濡れる程度とし、残液処理は種子消毒剤残液処理方法にしたがう。

2. 播種計画(稚苗育苗)を立てましょう!!

「老化苗・軟弱徒長」防止のため、各品種別に適正な作業計画を作成し、田植えに合わせた適期播種(育苗日数20日程度)、適正播種量、的確な温度管理による健苗育成に努めましょう!!



田植え予定日から逆算して「種子予措~播種日」のスケジュールを立ててみましょう!!



催芽・種子消毒

- ◇ 催芽温度が30℃を超えると細菌性病害が発生しやすくなるため、催芽温度は28~30℃(30℃未満)を徹底し、日数は1~2日を目安として下さい。
- ◇ 催芽終了は、「ハト胸」状態がめやすです。発芽率が80%以上となるように催芽日数を調節します。芽の伸ばしすぎにも注意して下さい。
- ◇ JAから供給する種子は温湯消毒済ですが、薬剤防除に比べばか苗病・褐条病に対する防除効果が劣ります。タフブロックによる消毒処理を行って下さい。



使用区分	使用資材名	使用基準	備考
種子消毒	(温湯消毒)	-	60℃の温湯で10分、15℃以下の冷水で6分冷却処理
	タフブロック	200倍液に24時間浸漬	いもち病・ばか苗病・苗立枯病ほか: 催芽時処理

期間: 10日

浸種

- ◇ 発芽揃いを良好にするため、①浸種水温は10~15℃、②十分な水量(種子容量の2倍程度)を確保して、③積算温度100℃を目安に浸種して下さい。

【注意!!】 休眠の深いコシヒカリ・五百万石などの積算温度は120℃とします。また、浸種開始時の低水温(10℃未満)は、発芽揃いが悪くなるので避けて下さい!!

期間: 1~2日

ポイント

塩水選

- ◇ より充実した籾を選別するために、塩水選を行いましょう。
- ◇ 溶液中に籾を入れる際は、棒などでよく攪拌して籾についた気泡を落として下さい。

区分	比重	水10ℓ当たりの食塩の量
うるち籾	1.13	1.9kg
もち籾	1.08	1.1kg

※ 塩水選後の種子は、「必ず水洗い」しましょう。

裏面もご覧下さい!!

JAえちご中越 さんとう地域「特別栽培米 使用基準」

【コシヒカリBL・契約栽培こがねもちの使用基準】

新潟県が定める特別栽培農産物使用基準が改正（令和6年1月18日）され、特別栽培米の化学肥料使用量（窒素成分）が「3.0kg以下から3.5kg以下」に見直し・改正されました。このことを踏まえ、令和6年度よりさんとう地域の特別栽培米使用基準を以下のとおり改訂しています。なお、下表の使用肥料基準をめやすとして、出穂期前の著しい葉色低下や登熟期間の異常高温が予想される場合には、化学肥料使用量「窒素成分：3.5kg以下」の範囲内で追加穂肥の施用を検討してください。

【令和7年度の変更点】①コシヒカリBLの一発基肥肥料に「越後の輝き有機50スーパー元肥ロング」を追加、②本田除草剤の内、一発処理剤を「ベッカク剤」へ切り替え、③本田防除：ブーン粒剤を追加

今回追加した一発基肥「越後の輝き有機50スーパー元肥ロング」は、高温障害対策や後期栄養の確保を目的に、従来品穂肥相当分の溶出時期「90日タイプ」を「110日タイプ」に変更することで登熟後期の肥効切れが軽減されます。

＜＜JA:使用肥料基準＞＞ → 「化学肥料使用量（窒素成分）3.5kg/10a」の範囲内で栽培します。

使用区分	品目名	使用量の目安	化学合成由来窒素成分 kg/10a	成分 (%)				摘要
				窒素	うち有機	リン酸	加里	
育苗	* 稚苗苗代配合	30g/箱	0.024	4		6	5	20箱/10a
	ホーネンス培土1号	2.8kg/箱	0.026	0.046		0.046	0.046	20箱/10a
	ホーネンス培土1号Si	2.8kg/箱	0.026	0.046		0.046	0.046	20箱/10a
	亜リン酸入ホーネンス培土1号	2.8kg/箱	0.026	0.046		0.135	0.110	20箱/10a
	【共土用】亜リン酸入ホーネンス培土1号	4.0kg/箱	0.028	0.035		0.097	0.077	20箱/10a
	くみあい液肥2号	10g/箱	0.020	10		4	8	20箱/10a
	尿素46%	2g/箱	0.019	46				20箱/10a
	* べんとう肥	20g/箱	0.032	8		8	8	20箱/10a
基肥	* 越後の輝き有機50元肥エコ	30kg	1.470	10	5.10	8	8	
	越後の輝き有機50スーパー元肥	50kg	2.950	12	6.10	6	5	こがねもち 推奨
	越後の輝き有機50スーパー元肥ロング	50kg	2.950	12	6.10	6	5	コシヒカリ 推奨
	有機50早生スーパー元肥2号	40kg	2.360	12	6.10	7	6	※令和7年のみ使用可
穂肥	* 越後の輝き有機50穂肥	25kg	1.425	12	6.30	2	8	
	さんとう穂肥有機	20kg	2.460	14	1.70	1	14	
	尿素46%	1kg	0.460					
	* ドローン用 尿素43	1kg	0.430					
その他の肥料	みらい有機831	20kg	-	8	8.00	3	1	
	鶏ちゃんパワー	30~60kg	-	4	4	3	2	参考値
	ニューマスター	30kg	-			2		Si 32
	みつパワー	60kg	-					Si 25
	スーパーシリカプレミアム	20kg	-					Si 30
	苦土重焼燐	20kg	-			35		
	けい酸加里プレミア34	20kg	-				20	Si 34
	マグコープ	20kg	-			17		
田んぼの鉄人	15kg	-					水溶性鉄：17%を含む	
【例】	* 印を標準使用した場合の化学由来窒素		3.381					

※ 上記の使用基準を参考に、使用する資材のトータル化学合成由来窒素成分が県認証基準3.5kg以下となるよう施肥設計して下さい。

＜＜JA:使用農薬基準＞＞ → 「節減対象農薬使用回数（成分回数）：以下の統一農薬9成分」の範囲内で栽培します。

使用区分	資材名	用途	使用成分数	摘要	
種子消毒	タフブロック	殺菌	-	他の種子消毒殺菌剤との併用不可	
育苗	カスミン（粒剤・液剤）	殺菌	-	細菌性病害対策	
育苗箱処理	パディート（1箱粒剤）	殺虫	1	床土混和可能	
	ブーンパディート（1箱粒剤） ※1	殺菌	（2）	床土混和可能：いもち病対策	
本田除草剤	初期剤	メテオ（1箱粒剤・707アル・ジャンボ）	除草	1	一発処理剤との体系処理
	一発処理剤	ベッカク（1箱粒剤・豆つぶ・ジャンボ）	除草	3	エンペラー剤からの切替品
	中・後期剤	クリンチャー（1箱粒剤・EW・ジャンボ） ※2	除草	1	ノビエが発生した場合に使用
	中・後期剤	バサグラン（粒剤・液剤） ※2	除草	1	広葉雑草が発生した場合に使用
本田防除	ブーン粒剤 ※1	殺菌	（1）	いもち病 本田予防防除	
	スタークル（粒剤・液剤10・豆つぶ）	殺虫	1	共同防除（カメムシ等）	
			8		

本田防除（緊急防除）	カスミン（液剤）	殺菌	-	いもち病（緊急防除）
	バリダシン（液剤5・粉剤DL）	殺菌	-	紋枯病（緊急防除）
	Zボルドー（粉剤DL）	殺菌	-	稲墨黒穂病・稲こうじ

- ※1 いもち病が発生しやすい地域・ほ場で活用してください。ただし、箱剤と本田剤の重複使用は不可となります。
- ※2 クリンチャーバスマE液剤でも可です。ただし、単剤との重複使用は不可となります。
- ※3 上記以外の品目を使用した場合、特別栽培米の対象から外れる場合があります。



「ベッカク」の豆つぶ・ジャンボ剤使用時期は田植後3日～移植後30日までジャ。代かき後10日以内の“早め”のタイミングで除草剤を散布するのジャ!!

3. 耕起前の本田準備

ホタルイ・クログワイなど、多年性雑草の多発生にお悩みではありませんか？これらの雑草は、冬の低温期に地上部が枯れた場合でも地表近くや地下の茎基部・根塊が生存し、春先の気温・地温の上昇で4月上旬ころから萌芽・再生します。北陸地方の向こう1か月の天候の見通しでは晴れの日が多く、気温も高い予報であることから雑草の萌芽・再生が早まりそうです。（*萌芽とは…草木が芽生えること）

<p>ホタルイ</p>	<p>地下部で生存した茎基部から直接葉を出して地際から分けつして株をつくる。種子の生産量も多く、水田でのホタルイは大量に生産する種子で増殖する一年生雑草としての特性も示す。</p>	<p>クログワイ</p>	<p>地下の増殖器官の先端や途中の節から地上茎を萌芽して繁茂する。繁殖力が旺盛で土中20～30cmの深さの塊茎からも萌芽する。また、ロータリー耕で地下茎が細断されても断片から萌芽・再生する。</p>
-------------	--	--------------	---

地表近くで4月上旬から再生・萌芽した多年性雑草は、本田初中期の一発除草剤を散布する時期には薬剤効果の限界葉齢を超える大きな雑草となって「雑草の取りこぼし」の最大の要因となります。

対策

「特別栽培米」以外を作付けするほ場で“多年性雑草が多発生する”場合には、「耕起前の茎葉処理除草剤（ラウンドアップMRなど）」を活用した雑草防除を検討してください!! →あわせて「少なめ入水+ていねいな代かき」で越冬雑草を地中に埋没させてください!!



~~~~ 営農情報のお問い合わせは、お気軽に最寄りの営農センターへ ~~~~



# 稲作情報

## No.3 「土づくり & 健苗育成」

J A えちご中越 さんとう営農センター  
TEL: 0258(41)2887

令和7年 3月31日

# 「土づくり」と「健苗育成」の徹底で… 異常気象に備えた「丈夫な稲づくり」をスタート!!

### 1. 「基肥」+「土づくり資材」をしっかり投入しましょう

品質・収量の低下に大きな影響を及ぼしている「技術的要因」  
「土づくりの不徹底」

- ① 「地力低下+基肥施肥量の不足」→ 登熟期間の栄養凋落▷除青未熟
- ② 「ケイ酸成分の不足」→ 稲体(茎葉・根)の機能低下▷耐倒伏性の低下
- ③ 「浅すぎる作土深」→ 根が地下伸長できない▷養水分の吸収力低下

上表の「3点の品質低下要因」の改善に向けて、まずは土づくりの徹底実践: ①適正な基肥量の確保、②有機質・ケイ酸資材の投入、③15cm程度の深耕による根域確保により、養水分をしっかり吸収できる「根が育つ土の環境」を整えてあげましょう!!

昨秋に土づくりができなかったほ場では、有機質肥料やケイ酸資材の投入で「春先からの土づくり」に取り組みましょう!!

【コシヒカリ基肥施肥量の目安(10aあたり)】

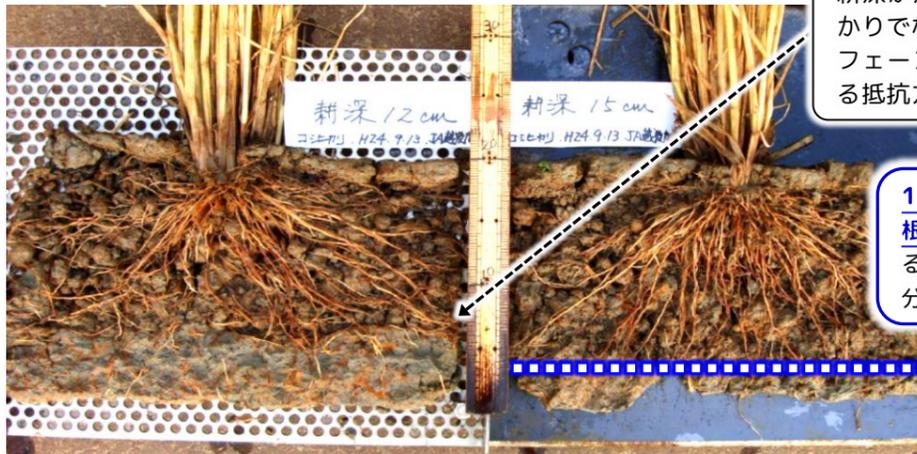
| 施肥区分        | 品目名                | 10a施肥量  | 窒素成分(%) | 10a窒素成分量(kg) |
|-------------|--------------------|---------|---------|--------------|
| コシヒカリ【分施肥系】 | 越後の輝き有機50元肥エコ      | 30~35kg | 10      | 3.0~3.5kg    |
| コシヒカリ【一発基肥】 | 越後の輝き有機50スーパー元肥ロング | 45~50kg | 12      | 5.4~6.0kg    |

基肥にプラスして有機質&ケイ酸の「土づくり資材」を投入しましょう!!

- ※ 平年より大きく収量低下したほ場や初期生育の悪い(穂数が不足する)ほ場では、2~4割程度の増肥を検討しましょう。(5割減栽培ほ場は、化学肥料使用量: 窒素成分 3.5kgの範囲内)
- ※ 基肥を全層施肥する場合、施肥後速やかに耕起・代かき(水張り)を行って下さい。(※脱窒防止)  
\* 脱窒とは… 施肥後、耕起せずに肥料を放置すると脱窒菌により気化して窒素成分が大気中に逃げってしまうこと

### 2. 【耕起作業】耕深: 15cmを確保しましょう!!

図: 耕深の違いによる根の分布



耕深 12cm の浅耕区は、耕盤で根の伸長と広がりが止まっています。耕深が浅いと肥効の持続性が短いばかりでなく、根の機能低下も早まり、フェーンや干ばつ、高温障害に対する抵抗力が弱まってしまうんだ 😞

15cm 区は根量が多く、深くまで根が伸びていることが確認できるのじゃ。この根がしっかり養水分を吸収してくれるんじゃ!!



品質・収量向上の第一歩は「土づくり」と「健苗育成」で決まり!!

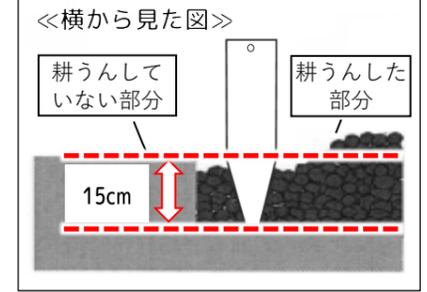
### 「作土深目標: 15cm」の確認手順

水稻の根がしっかり活躍できる作土深: 15cmを確保しましょう!!

- ① 普段(例年)どおりに、数メートル耕起する
- ② 耕深をものさし等で測る(右図)

|            |                             |
|------------|-----------------------------|
| ⇒ ○ 15cm以上 | 普段(例年どおり)の深さで耕起を継続する        |
| ⇒ × 15cm未満 | 1~2cm程度深くなるようにダイヤルを調整して耕起する |

※ 1回の耕起で耕深を深くしすぎると初期生育が停滞する場合があります。耕深が15cm未満の場合は毎年1~2cmずつ深め、最終的に目標値(15cm)を確保しましょう。



### 3. ていねいな「代かき」!!

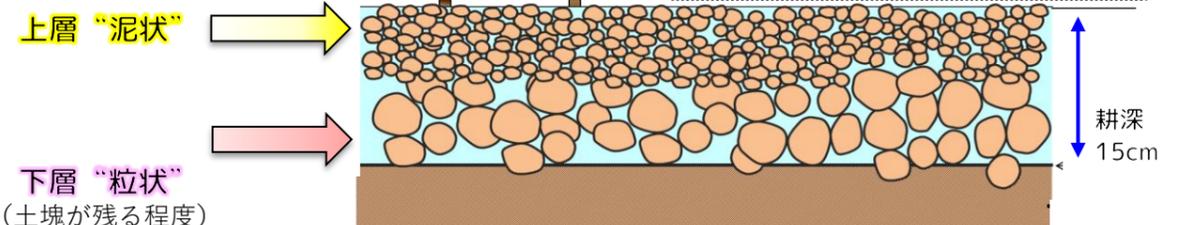
代かきは、ほ場の碎土や均平、稲株・収穫残渣を埋没させることが目的なんじゃ!だから、田面の高い部分が見える程度の浅水で代かきするのがポイントじゃ!!



(1) 代かきの仕上げ目標

| 目標項目    | 仕上げ目標          | 備考                       |
|---------|----------------|--------------------------|
| ① 田面高低差 | ±3~4cm以内       | 田面の高い部分が水面から見え隠れする程度に均す  |
| ② やわらかさ | 下層に土塊が残る程度(下図) | “練り過ぎ”は、苗の活着不良~初期生育不良を招く |
| ③ 作業日   | 移植2~3日前        | 雑草の発生抑止対策、欠株の防止、浮き苗対策    |

(2) 代かきの仕上り状態



SDGsの実践! 海の豊かさを守ろう!!

ていねいすぎる(ドロドロの)代かきは、活着の遅れやワキの発生を招いてしまいます。注意してネ!!

- ※1 河川へのマイクロプラスチック流出防止のため、代かき後の水を水路に流さないで下さい。
- ※2 代かき後~移植前に初期除草剤を使用した場合、「止水管理」を徹底してください。

注意

## 道路に落としてしまった土や泥は… 速やかに撤去しましょう!!

注意

道路に落ちた土や泥のかたまりは、歩行者や車両などの「通行の妨げ」になります。ほ場から出る際には、トラクター等の農耕車輛についた土や泥を落としましょう!!

危険です!!

生活するすべての人にやさしい住環境をつくりましょう!!

## 4. 「播種作業」の流れを確認しておきましょう!!

### 【播種作業の流れ】

① 床土肥料の目安

| 資材名     | 1箱あたり    | 10aあたり  | 備考     |
|---------|----------|---------|--------|
| 稚苗苗代配合  | 30g 以内   | 600g 以内 | 10aあたり |
| ホーネンス培土 | 2.8kg 以内 | 56kg 以内 | 20箱以内  |

② 1箱あたり灌水量の目安

- ▶ 無加温育苗：1.0~1.2ℓ / 1箱あたり
- ▶ 加温育苗：0.7~0.8ℓ / 1箱あたり

③ 1箱あたり播種量の目安

- 乾籾 140g / 箱 (催芽籾 175g / 箱)
- (大粒品種\*：乾籾 150~160g / 箱)

\* ゆきみらい、五百万石、たかね錦、越淡麗 など

④ 種籾が隠れるまで覆土します

- ※ タフブロックによる種子消毒ができなかった場合は、カスミン(粒剤・液剤)による覆土前処理を徹底します
- もみ枯細菌病・褐条病・苗立枯細菌病 予防

出芽期~緑化期に外気温が25℃を超える日は、朝のうちからハウスを全開にして、「苗ヤケ」に注意しましょう!!

「タフブロックによる催芽時処理」の徹底と「適正な催芽温度」を厳守しましょう!!

催芽時・出芽時の温度が30℃を超えると細菌性病害の発生リスクが大幅に増加します!!



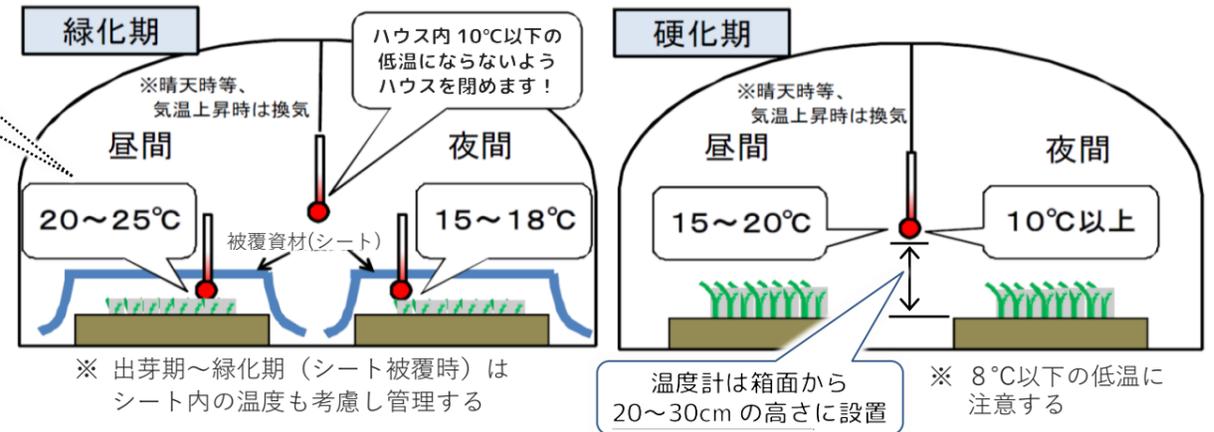
床土に「垂リン酸入ホーネンス培土」を用いることで、ムレ苗の発生を大幅に軽減できます!!

温湯消毒とタフブロックの体系処理により防除効果が安定します!!

★注意★：密苗(高密度播種)は徒長しやすく苗の移植適期幅が、通常播種よりも「4~5日程度」短くなるんじゃ。軟弱・徒長苗にならないように播種~移植作業計画を立てるのじゃ!!

プール育苗の硬化期管理：苗箱の上1cm程度に湛水します。低温予想時以外は、昼夜ともにハウスを開放します。【\*強風に注意】

### ② 緑化期と硬化期の温度管理の目安



### ③ 苗の病障害対策

- ▶ **ヤケ苗対策** ... 出芽期~緑化時の温度管理の徹底  
出芽期~緑化期の被覆資材内温度が「30℃を超えない」ように注意!  
⇒ 風が冷たい晴天の日は、思ったより温度が上がっていることが多いので特に注意!
- ▶ **ムレ苗対策** ... 降霜・低温が予想される場合は被覆管理を徹底  
緑化期以降の低温に注意! (緑化期→10℃以下、硬化期→8℃以下)
- ▶ **軟弱徒長・老化苗対策** ... 田植日に合わせた適期播種、適期に出芽・緑化を終了  
育苗日数20日の徹底! 出芽・緑化の長期化、かわいがり過ぎに注意!

出芽期~緑化期の高温に注意するのじゃ



①「適正な催芽温度」、②「タフブロックの催芽時処理」、③品種ごとの「適正播種量」の適切な処理により、育苗病害の発生を防止しましょう。また、老化苗や軟弱・徒長苗とならないよう「田植日に合わせた適期播種による健苗育成(育苗日数20日程度)」を徹底しましょう。

## 5. 育苗ハウスの管理作業

### (1) 温度管理等

#### ① 育苗期別の温度管理と終了の生育目安

| 時期  | 終了段階の生育         | 温度管理   |        | 処理日数の目安 | 出芽様式 |
|-----|-----------------|--------|--------|---------|------|
|     |                 | 昼間*    | 夜間     |         |      |
| 出芽期 | 出芽長 0.5~1 cm    | 30℃    | 30℃    | 2~3日    | 加温   |
|     |                 |        |        | 5~7日    | 無加温  |
| 緑化期 | 第1葉鞘長 3.5 cm    | 20~25℃ | 15~18℃ | 2~4日    |      |
| 硬化期 | 苗丈 12cm、葉数 2.0葉 | 15~20℃ | 10℃以上  | 12~13日  |      |

特に出芽期~緑化期は、30℃以上の高温にならないよう温度管理するのじゃ!!



ポイント  
出芽長や第1葉鞘長が長くなり過ぎると、第2葉も長くなり徒長してしまいます。少し早くからのタイミングで被覆資材(シート)を剥いであげましょう!!



### 「健苗スケール」で苗丈・苗質をチェック!

図のように育苗箱にセットし、苗丈をチェックしてください。品種ごとに伸びやすい・伸びにくい等の品種特性を考慮して健苗育成に努めて下さい。

- ① 品種ごとに適切な播種量や育苗期間を確保し、健苗を育成しましょう。
- ② 田植前には苗追肥(べんとう肥)を施し活着の良い苗に仕上げましょう!

○の部分まで覆土に差してご使用ください!  
(健苗スケールは透明なので奥の苗も見ることができま)

# 稲作情報

## No.4 「べんとう肥～本田除草」

J A えちご中越 さんとう営農センター  
TEL: 0258 (41) 2887

令和7年 4月10日

# 「べんとう肥」の施用で「健苗」仕上げ!!

## 健苗移植で良質茎を早期に確保しましょう!!

### 1. 移植前追肥(べんとう肥)

液肥散布後は、葉面についた肥料を洗い流すイメージでたっぷりかん水するのじゃ!!

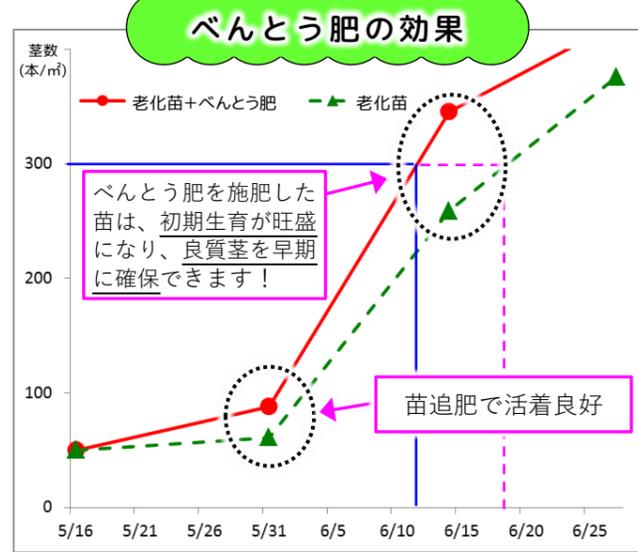


| 資材名      | 使用量    |         | 備考          |
|----------|--------|---------|-------------|
|          | 1箱あたり  | 10aあたり  |             |
| くみあい液肥2号 | 10g 以内 | 200g 以内 | 200倍以上に希釈   |
| 尿素       | 2g 以内  | 40g 以内  | 10aあたり20箱以内 |
| べんとう肥    | 20g 以内 | 400g 以内 |             |

おススメ!!

### ★ べんとう肥施用のポイント ★

- ① 胚乳からの栄養源を失った苗の老化防止と移植後の活着を促進させるため、移植前4～5日(1.8葉期)頃に施用します。
- ② 1箱あたりの施肥量が、N成分で1～2gとなるよう肥料溶液を散布した後、十分かん水して肥料ヤケを防ぎましょう。
- ③ 軟弱苗・徒長苗の場合でも、移植直前の追肥で活着・初期生育が促進されます。
- ④ プール育苗の場合は箱上まで水を張り、窒素成分で1箱あたり約1～2g相当となるよう肥料を施用し、施用後は2日間落水しないようにしましょう。



品種特性に合わせた移植適期に移植しましょう。また、適正な「栽植密度・植付本数・植付深さ」の移植作業で早期に良質茎を確保しましょう!!

### 2. 田植え

#### (1) 田植え時期

天候の安定する5/5以降を目安に移植作業を開始しましょう!!

植え傷みによる「初期生育の停滞」を避けるため、天候不順日(特に低温・強風時)の移植作業は避けてください!!

- ・田植え後 → 3～4cmのやや深水(植え傷み回避)
- ・活着後 → 2～3cmのやや浅水(分けつ促進)

#### (2) 栽植密度 60株/坪

※ 転作あとや基盤整備あと、過剰生育が懸念される場合は、疎植(50株以下/坪)とします。

#### (3) 植付本数 3～5本/株

過繁茂防止のため植付本数を確認しながら作業しましょう! また、品種やほ場条件を考慮して植付本数を調整してください!!

#### (4) 植付深さ 3cm程度の浅植え

トラクターなどで道路に落としてしまった土や泥は、速やかに清掃しましょう!!

### 3. 初期病害虫の防除対策

5割減栽培では、本田で殺虫剤が使用できません。必ず、育苗箱処理剤で病害虫防除を徹底しましょう!!



| 資材名          | 適用病害虫名                          | 使用量   | 使用時期                                                    |
|--------------|---------------------------------|-------|---------------------------------------------------------|
| パディート箱粒剤     | フタオビコヤガ、ニカメイチュウ、イネミズゾウムシほか      | 50g/箱 | 播種前(床土混和)、播種時、覆土前～移植当日<br>*1箱あたり使用量: 50gをしっかりと施用します!!   |
| ブーンパディート箱粒剤* | いもち病、フタオビコヤガ、ニカメイチュウ、イネミズゾウムシほか | 50g/箱 | *密播・密苗は、「10aあたり使用量1kg」をめやすに1箱あたり使用量を調整(50～100g/1箱)します!! |

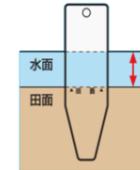
◆ いもち病の常発地域、発生しやすいほ場・品種(わたぼうし、新之助など)では、ブーンパディート箱粒剤を必ず活用し、いもち病の予防防除に努めて下さい。⇒ 初発前の「予防防除」が重要です!!

### 4. 本田雑草の防除対策

#### 1 本田除草剤の登録内容と使用時期の確認

(1) 本田除草剤(初期剤・初中期一発剤)の登録内容

| 使用区分    | 使用資材名 | 10aあたり使用量 | 使用時期(移植水稻) | 除草剤散布時の水深目安                 |       |
|---------|-------|-----------|------------|-----------------------------|-------|
| 初期処理    | メテオ   | 1キロ粒剤     | 1kg        | 植代後～移植7日前、移植時、移植直後～移植後30日まで | 3～5cm |
|         |       | フロアブル     | 500ml      |                             | 3～5cm |
|         |       | ジャンボ      | 10個(300g)  | 移植直後～移植後30日まで               | 5～7cm |
| 初中期一発処理 | ベッカク  | 1キロ粒剤     | 1kg        | 移植時・移植直後～移植後30日まで           | 3～5cm |
|         |       | 豆つぶ250    | 250g       | 移植3日後～移植後30日まで              | 5～7cm |
|         |       | ジャンボ      | 10個(250g)  | 移植3日後～移植後30日まで              | 5～7cm |



\* 剤型により水深目安が異なるので注意が必要です!(水深スケールの活用)

\* 浮き苗や浅すぎる水深は、薬害の発生リスクが高まるので注意しましょう!

注意①

浮き苗や浅すぎる水深は薬害の恐れがあるので、水深をしっかりと確保してから除草剤を散布しましょう。豆つぶ・ジャンボ剤は強風時の使用を避け、風の影響が少ない時間帯(朝・夕)に散布しましょう!!

注意②

除草剤散布後は薬剤処理層の形成のため止水管理します。止水管理中も自然減水しますが、散布後4日間は途中の足し水は厳禁です。5日目以降に落水せず静かに足し水を行います。また、1日あたりの自然減水量は圃場により異なるためスケール等を用いて把握し、適正な水深をキープしましょう!!

雑草の発生は「代かき直後」からはじまります!!

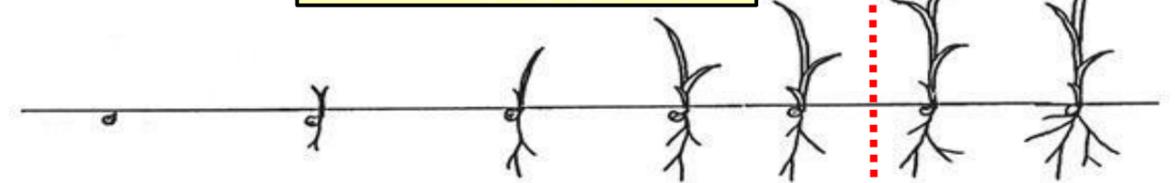


田植後

#### (2) 雑草の発生と生育

##### ① ノビエ

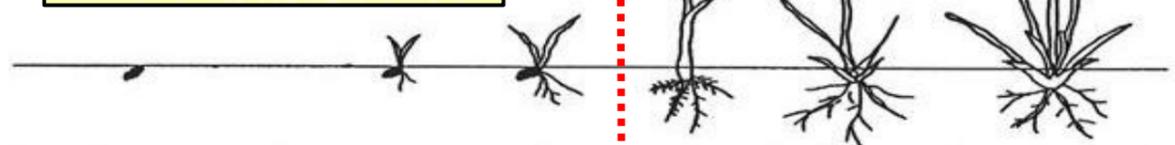
処理限界の葉令になる前に「早め」のタイミングで除草剤を散布します!



| 休眠中    | 鞘葉期 | 1葉期 | 1.5葉期 | 2葉期    | 2.5葉期  | 3葉期  |
|--------|-----|-----|-------|--------|--------|------|
| 代かき後日数 |     | 7日  | 7～10日 | 10～15日 | 12～20日 | 15日～ |

##### ② ホタルイ

処理限界の葉令になる前に「早め」のタイミングで除草剤を散布します!



| 休眠中    | 1葉期  | 2葉期    | 3葉期    | 4葉期  | 花茎抽出 |
|--------|------|--------|--------|------|------|
| 代かき後日数 | 5～7日 | 10～12日 | 12～15日 | 18日～ |      |

裏面もご覧ください!!

2 代かき後日数と本田除草剤（初期剤・初中期一発剤）の処理時期の目安

| ノビエ<br>(葉数) | ホタルイ<br>(葉数) | 代かき後<br>日数 |
|-------------|--------------|------------|
| -           | 0.5~1.0      | 5          |
| 1.2~1.8     | 1.0~1.5      | 7          |
| 2.0~2.1     | 1.5~2.0      | 10         |
| 2.7~2.8     | 2.0~3.0      | 12         |
| 3.3~3.5     | 3.0~3.5      | 15         |
| 4.0~4.3     | 3.5~4.5      | 20         |
| -           | 4.5~5.0      | 25         |

**メテオ（粒剤・707アル・ジャンボ）の処理限界**  
ノビエ：1葉期まで ホタルイ：発生前～発生始期まで

代かき後  
5日までに散布

**ベッカク（粒剤・豆つぶ・ジャンボ）の処理限界**  
ノビエ：3葉期まで ホタルイ：3葉期まで

代かき後  
12日までに散布

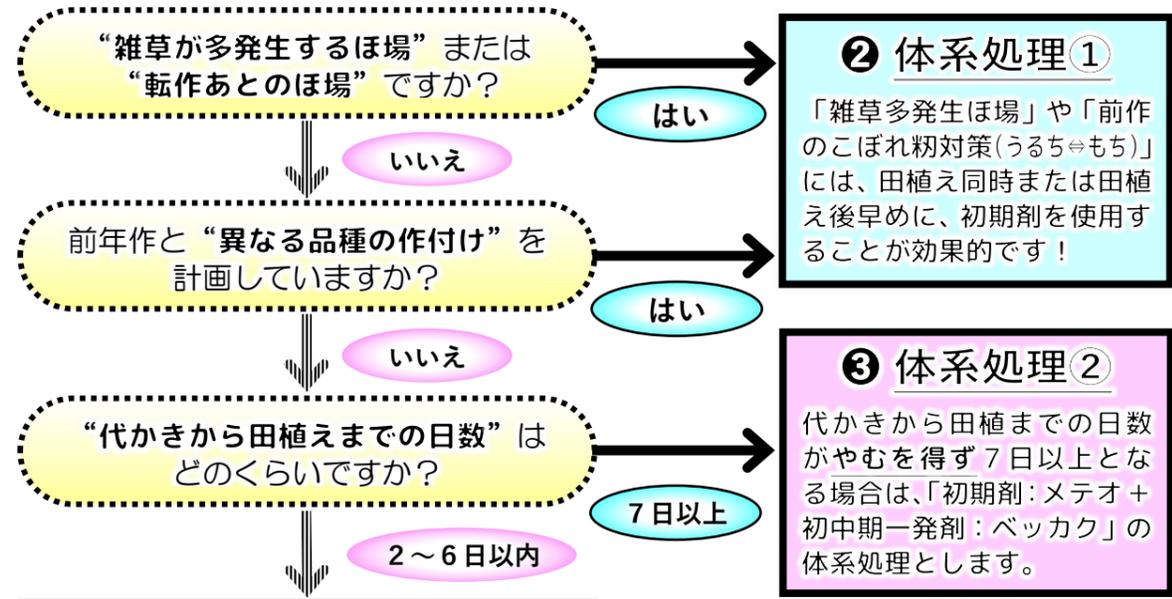
雑草の生育と代かき後日数を考慮して、“**早め**”に除草剤を使用することが重要なジャ!!



3 除草体系の検討

**ポイント**

以下の設問事項を確認して、除草体系を検討・選定しましょう!!



**① 一発処理**  
散布適期を逃さず早めに使用しましょう!!

- ①ほ場条件（土性、水持ち、作付体系、作付品種の切換、雑草の種類）
- ②作業体系（代かきから移植までの日数）
- ③難防除・特殊雑草への対応を考慮して除草体系を検討するのジャ!!

《特殊雑草への対応》

◆【藻類、表層はく離】  
概ね田植え後1週間ころから雑草の発生が始まります。「発生前までに初中期一発剤（ベッカク）を散布すること」を基本に、除草剤散布前に発生が見られた場合は、対策資材（5割減栽培：田んぼの鉄人、慣行栽培：モゲトン粒剤）の使用や水の更新を行い、除草剤の拡散性を確保しましょう!!

4 本田除草剤（初期剤・初中期一発剤）の散布適期の確認

**「登録の範囲内」でできる限り雑草の小さいうちに確実に防除します!!**  
→ 暖冬少雪に加えて、3月下旬から気温の高い気象傾向が続いていることから、雑草の発生時期や生育が早まっています。下図を参考に、**散布適期の範囲内における早め（雑草・藻類の発生前～発生初期）の除草剤使用により、雑草の発生防止に努めて下さい!!**

① 一発処理パターン：気象予報を確認し、出来るだけ早めに散布しましょう!



② 体系処理パターン1：田植え後（田植え同時）に初期剤（メテオ）を使用する場合



③ 体系処理パターン2：やむを得ず、代かきから田植えまでの日数が7日以上となる場合

★初期除草剤の使用は、河川への流出を防止（環境への配慮）するため、**移植前の使用を極力控え、移植後の使用を基本とするのジャ!!**

やむを得ず、移植前に初期除草剤を使用する場合は、必ず「田植え7日前まで」に散布するのジャ!!



- \* 1 除草剤散布後7日間は、止水管理（入水・落水・かけ流しをしない）としましょう。
- \* 2 気温や水田状況（保水力・雑草発生状況など）により、雑草の発生時期が異なります。発生してからでは手遅れになります。適期散布と適正な水管理を徹底しましょう!!

～～宮農情報のお問い合わせは、お気軽に最寄りの宮農センターへ～～

**LINE 宮農情報LINE 営業中(\*!w!)!**

LINEアプリの[ホーム]から [友だち追加] > [QRコード] で 右のQRコードを読み取るのジャ!!

宮農・稲作に関する情報を 随時・迅速に配信しています!

「友だち登録」お待ちしております!! m(\_)\_m

# 稲作情報

## No5 「本田水管理～初期除草」

J A えちご中越 さんとう営農センター  
TEL : 0258 (41) 2887

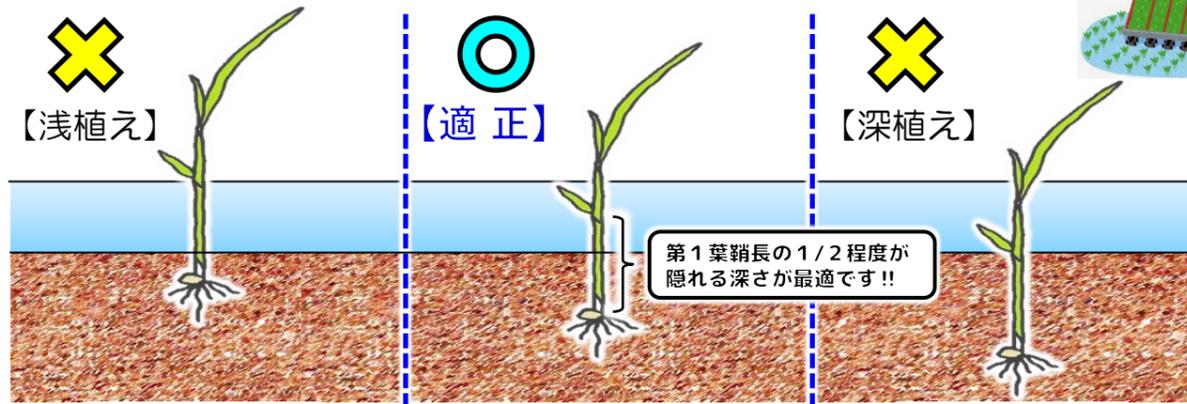
令和7年 4月21日

① 品種特性に合わせた「適期田植え」でスタートダッシュ!!

② 適正な植付（深さ・密度）と水管理で初期生育を促進させましょう!!

### 1. 植付深度をチェック!

植え付け深さは、初期生育の良否に大きく影響します。特に「深植え」になりすぎないように注意しましょう!!



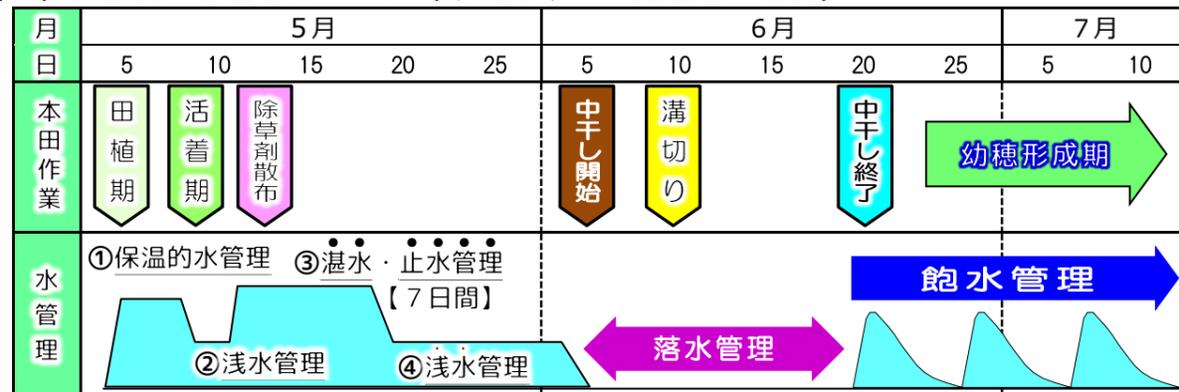
植付深度：1  
地温が高く活着は早いものの、浮き苗・欠株となったり倒伏しやすい稲になります。

植付深度：2～3 cm  
活着が良好で初期生育が旺盛となり、早期の分けつ発生で「良質茎が確保」されます。

植付深度：4  
発根部分の地温が低いため活着や下位分けつの発生が抑制されてしまいます。

### 2. 田植後の水管理キーワード → 「こまめな水深管理」

(1) 田植後の水管理イメージ（本田除草：一発処理の場合）



(2) 水管理のポイント

① 田植後～活着まで ⇒ 「保温的水管理」

「3～5cm」のやや深水として、低温や風による植え傷みを回避します。

② 活着後 ⇒ 「浅水管理」

水温の上昇を図り早期分けつを促進するため、「2～3cmのやや浅水」とします。深水にしすぎると日中暖められた水が夜間に下がりきらず、藻類が発生しやすくなります。また、日中に暖められた深い水によって稲は上に伸びようとするため、**ヒョロヒョロとした軟弱な稲姿**となります。

除草剤散布時には「水深スケール」を使って、しっかりと水深を確認しよう!!

活着後は「浅水管理」を徹底!!

SDGs⑬

★ワキの発生防止と★初期生育の促進を図りましょう!!

③ 初中期一発剤散布時 ⇒ 「湛水・止水管理」

【\*詳細は、裏面の止水管理イメージを参照】

除草剤散布後4～5日間は、水深3～5cm程度の湛水状態を保ち、散布後7日間はかけ流しや落水しないようにします。やむを得ず入水する場合、除草剤の処理層を壊さないよう静かに入水します。

④ 中干し開始まで ⇒ 田面の高いところが隠れる程度の「浅水管理」

除草剤散布7日後以降は2～3cmのやや浅水とし、ワキやアオミドロの発生を抑えるようにします。

!!【★ワキの多発生に要注意★】!!

「ワキ」(異常還元)は、土壌中の有機物(稲わらなど)の分解で発生するメタンガスで多発生すると根が障害を受け、生育の停滞や時には枯れ上がってしまうなど、その後の生育や収量に大きく影響します。今春は、昨秋のひこばえの増加による、「ワキ」の多発生が懸念されます。また、5月下旬から6月上旬は1年の中で最も日照時間が長く、地温の上昇にともない「ワキ」が発生しやすくなります。「ワキ対策」として水の更新や夜間落水による「ガス抜き」を行い、その後は「浅水管理」を継続します。

SDGs⑬: 「気候変動に具体的な対策を!!」  
→ワキの発生防止で温室効果ガスを削減します!!



### 3. 病害虫防除を徹底しましょう

地域全体で、①葉いもち対策、②カメムシ対策を徹底し、病害虫の発生を防止するのじゃ!!

(1) 葉いもち対策 … 補植苗を速やかに除去・処分しましょう!!

補植苗は、いもち病の発生源となります。放置された補植苗で発生・増殖したいもち病の胞子は広範囲(500m以上離れた圃場)に飛散し、伝染してしまいます。除草剤(初中期一発剤)散布までに補植を終了し、補植苗は速やかに処分しましょう!!

重要

★★ 葉いもち病 予防防除のポイント ★★

① 次表の①～③に当てはまる場合には、必ずいもち防除成分を含む育苗箱施用剤を活用します!!

|                 |                             |
|-----------------|-----------------------------|
| ① いもち病の発生しやすい地域 | 中山間地域や朝霧の晴れにくい・風通しの悪い沢地など   |
| ② いもち病の発生しやすいほ場 | 転作あとなど 過剰生育しやすいほ場、ケイ酸質不足のほ場 |
| ③ いもち病の発生しやすい品種 | 新之助・わたぼうし・越淡麗・こしいぶき など      |

② 育苗箱施用剤：ブーンパディート剤を活用した葉いもち防除

ブーンパディート剤に含まれるいもち防除成分：ジクロベンチアゾクスは、植物の病害応答反応を増強(いもち病菌の侵入菌糸の進展を阻害～死滅)させる新規の病害抵抗誘導剤です。イネに対する高い安全性を示し、長期残効を有しています。しかし、散布ムラや施用量が不足すると十分な薬剤効果が得られません。移植当日の散布は、作業時間に余裕を持って「1箱あたり」の**1箱あたり**の**50gをしっかりと施用・均一に散布すること**がきわめて重要です!!

\*密播・密苗は、「10aあたり使用量1kg」をめやすに1箱あたり使用量を調整(50～100g/1箱)します。

(2) 斑点米カメムシ対策

前年度の発生量が多かったことから、越冬世代カメムシ類の多発生が懸念されます!!

① 農道・畦畔、雑種地等の雑草管理

5月中下旬から「イネ科雑草(メヒシバ等)の種子が結実しない間隔」で草刈りや除草剤散布を徹底する。

第1弾

ポイント

② 本田内雑草の発生防止

ヒエ類やイヌホタルイ等の雑草が多発生しないよう水田内の雑草管理を徹底する。

ポイント



地域全体で「春先からの雑草管理」を徹底することにより「越冬世代をたたく!!」ことが重要なポイントになります。

裏面もご覧下さい!!

## 4. 本田除草のポイント！

除草剤の散布前にチェックして  
“的確な雑草防除”に努めるのじゃ!!



### (1) 本田除草剤「散布前・散布時」の確認事項

©ワンジャ

#### 水稻本田除草剤（一発処理剤）使用時の10のチェックポイント

| No. | チェック項目（作業のポイント）                                                                                                                 | チェック                     |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| 1   | 畦畔は、しっかり作られている<br>→ ねずみ穴 等からの漏水がない                                                                                              | <input type="checkbox"/> |
| 2   | 代かきは、ていねい（均平）に実施されている<br>→ 田面が極端に露出してない                                                                                         | <input type="checkbox"/> |
| 3   | 除草剤成分の拡散に必要な水深が確保されている<br>（浅い部分を基準に水深確認 → 粒剤：3～5cm<br>豆つぶ・ジャンボ剤：5～7cm程度）                                                        | <input type="checkbox"/> |
| 4   | 水口・水尻はしっかり止めてある<br>→ 多少の降雨で水田水がオーバーフローしないよう、<br>“水尻は高め”にしてある                                                                    | <input type="checkbox"/> |
| 5   | 散布時・散布後の天候をチェックする → 散布当日から2日くらいの間に「田面水のオーバーフローが心配されるような大雨」や「田面水が極端に片寄るような強風」が予想される場合は散布を避ける<br>→ *豆つぶ・ジャンボ剤は、特に風雨の影響を受けやすいので要注意 | <input type="checkbox"/> |
| 6   | 使用農薬の登録内容（適用雑草と使用方法等）を確認してから使用する<br>→ 代かき後の日数、田植後の日数等を確認して適期に散布する                                                               | <input type="checkbox"/> |
| 7   | 適切な植付深さ（2～3cm程度）で丁寧な田植えされている<br>→ 極端な浅植えや植付不良で根が露出したり浮き苗のある場合は薬害が出やすくなるので要注意                                                    | <input type="checkbox"/> |
| 8   | 田植同時処理を行う場合には、①薬剤を適正に使用し、薬害の発生防止に努めるとともに、②処理時（田植時）はひたひた水の状態で水尻を閉じ、③作業終了後は適正な水深まで緩やかに湛水する                                        | <input type="checkbox"/> |
| 9   | 補植が完了している<br>→ 除草剤“散布直後の補植”は、薬害を生じる恐れがあるので要注意                                                                                   | <input type="checkbox"/> |
| 10  | ワキ・アオミドロ等の早発が懸念される場合には、登録内容の範囲内で除草剤を早めに散布する                                                                                     | <input type="checkbox"/> |

除草剤の効果を高めるには、丁寧な代かきで“**しっかり田面水を保つこと**”、“**適期・好天日に散布すること**”が重要なポイントになります。除草剤散布前から散布後までのポイントをチェックしながら、適正な管理作業で雑草の無い田んぼに仕上げましょう!!



「春の農作業安全運動」を実施中です。みんなで声掛け「事故防止」!!

【注意】  
誤って育苗箱に除草剤を撒いてしまわないように注意して下さい!!

### (2) 本田一発除草剤「散布後」の技術対策

#### <「除草剤処理後7日間は給排水しない止水管理」のイメージ>

～～ 除草剤を処理した後「7日間」は、田面の水を水田外に出さないように排水口を止め、さらにその期間は給水も止める方法です！～～

#### <<散布時の水管理チェックポイント>>

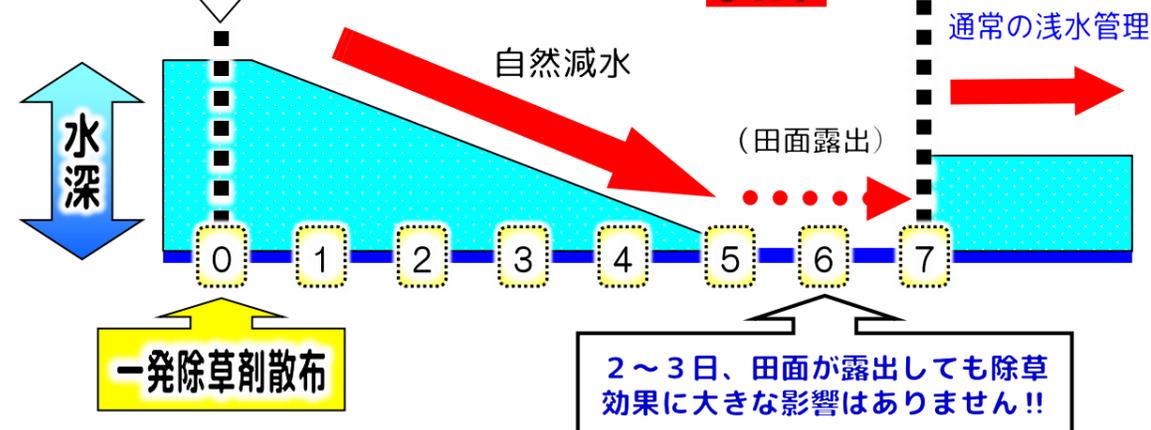
| チェック項目                                           | チェック                     |
|--------------------------------------------------|--------------------------|
| ① 畦畔からの漏水を防ぐ                                     | <input type="checkbox"/> |
| ② オーバーフローしないように排水口をしっかりふさぐ                       | <input type="checkbox"/> |
| ③ 水深が浅い部分で3～5cmになるようたっぷり入水する<br>*豆つぶ・ジャンボ剤は5～7cm | <input type="checkbox"/> |
| ④ 給水を止めてから散布する                                   | <input type="checkbox"/> |

降雨による田面水のオーバーフローで除草剤が流れ出てしまわないよう排水口を“しっかり”ふさぐのじゃ!!



5～7日間は給排水しない(注)

ポイント



#### ★ 注意 ★

以下の場合、除草剤の処理層に影響しない程度の弱い水量で給水して田面水位を維持する

- ① 低温対策など、栽培上湛水が必要な場合
- ② 散布後すぐ（散布翌日）に田面が露出するような漏水田
- ③ 田面が露出し、ひび割れが出るほど乾いてしまう場合  
→ → → オーバーフローに注意し給水する（\*かけ流しに注意）

水田除草剤の“除草効果を高める”には**除草剤散布後の水管理**が最も重要です!!



除草剤処理後7日間は給水しない「止水管理」を行うことで、除草剤処理層がしっかり形成され、十分な除草（抑草）効果が得られるヨ!!

～～ 営農情報のお問い合わせは、お気軽に最寄りの営農センターへ ～～  
次回稲作情報：5月下旬「中干し開始・終了の目安、葉もち防除、中後期雑草対策」（予定）

# 稲作情報 No6 「適期:中干し開始」

J A えちご中越 さんとう宮農センター  
TEL: 0258(41)2887

令和7年 5月20日

## 「適期中干し開始」~「全圃場で溝切り」を実践しましょう!!

5月上旬は、気温の寒暖差・日較差が大きく一部のほ場（軟弱・徒長苗）で植え傷みが発生していますが、5月中旬以降、安定した天候が続いていることから、水稻の活着・初期生育は概ね良好となっています。一方、気温の上昇とともに「ウキの発生」が多くなります。夜間落水や水の更新で「ガス抜き」してあげましょう。あわせて「適期中干し開始」に向けた準備（→茎数確認）を始めましょう!!

向こう1カ月は「気温の高い確率：70%」で平年より気温が高く、降水量は平年並~多く、日照時間は平年並~少ない見込みです。本格的な梅雨入り前に「中干し」を開始して「地固め」しましょう!! →【注意】: **× 遅すぎる中干し開始 ×**

天候も随時確認するのじゃ!



### 1. 適期中干しを開始しましょう!!

(1) **中干し開始の目安** … 目標茎数（目標穂数の80%程度）を確保したら**速やかに!!**

| 品種名   | コシヒカリ               |                     | こしいぶき               | ゆきん子舞               | ゆきの精                | 新之助                 | にじのきらめき             | 五百万石                | わたぼうし               | ゆきみらい               |
|-------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 栽植密度  | 50株                 | 60株                 | 60株                 | 60株                 | 60株                 | 50株                 | 60株                 | 60株                 | 60株                 | 60株                 |
| 目標穂数  | 350本/m <sup>2</sup> | 350本/m <sup>2</sup> | 400本/m <sup>2</sup> | 420本/m <sup>2</sup> | 380本/m <sup>2</sup> | 400本/m <sup>2</sup> | 320本/m <sup>2</sup> | 325本/m <sup>2</sup> | 350本/m <sup>2</sup> | 380本/m <sup>2</sup> |
| 開始の目安 | 草丈                  | 30cm                | 30cm                | 30cm                | 30cm                | 30cm                | 32cm                | 28cm                | 28cm                | 30cm                |
|       | 茎数                  | 18本/株               | 15本/株               | 17本/株               | 18本/株               | 17本/株               | 21本/株               | 14本/株               | 14本/株               | 15本/株               |
|       | 葉数                  | 7.0葉                |                     |                     |                     |                     |                     |                     |                     |                     |

◆ 生育過剰になりやすい地域・ほ場では、早め（目標穂数の70%程度）の中干しを徹底して下さい。

長雨・渇水・異常高温などの“気象変動”に備えて…  
→ **全ほ場で「溝切り」を実施しましょう!!**

### (2) 溝切りの方法

#### ★ 溝切り作業のポイント



#### 【溝切り：施工目標】

- ① 溝切りは**全ほ場**で実施する
  - ② 溝の間隔は**最低でも10条(3.0m)に1本程度**
    - ◆ 溝の深さは、10cm以上を確保する
    - ◆ 各溝の末端は、必ず排水溝につなげる
- \* 作溝が不十分な場合は、再度溝切りを実施する

#### ☆ 中干しの効果

- ① 無効分げつの発生抑制による“**適正生育量の確保**”
- ② 土壌への酸素供給による“**根の健全化**”
- ③ 下位節間の伸長抑制による“**倒伏軽減**”
- ④ コンバイン収穫作業が可能な“**地耐力の確保**”

#### ☆ 溝切りの効果

- ① 中干し効果の安定
- ② 中干し以降の水管理（異常高温・強風フェーン、大雨・長雨等の緊急時の給排水）が容易となる

SDGs ⑬ 「浅水管理・中干し」の徹底で温室効果ガスの発生を抑制しましょう!!

(3) **中干し終了の目安** … “小ヒビが入り、軽く足跡がつく程度”になったら終了します!!

中干し終了後は、◆根の健全化、◆うわ根の発生促進、◆地耐力の維持に努める必要があります。中干しは“小ヒビが入り、軽く足跡がつく程度”になったら終了することを基本として、地耐力が確保できるよう、ほ場ごとに長さ・強さを調節しましょう。（遅くとも出穂1ヵ月前（幼穂形成期）までには終了します。）



**強すぎる中干し(大ヒビ)厳禁!**

- ① 根の断裂等により、幼穂形成期から急激に“葉色低下”します!
- ② “高温障害”を受けやすくなります!
- ③ “除草効果が急激に低下”します!

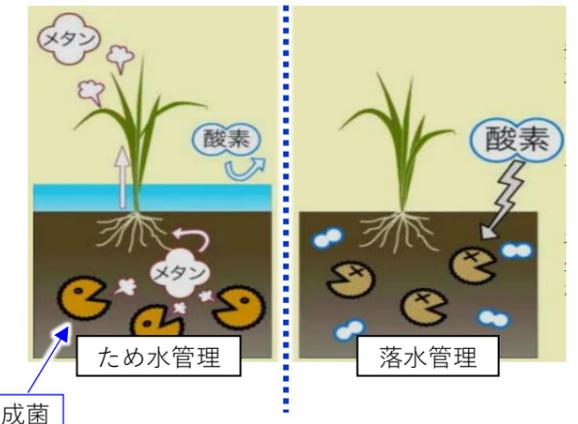
(4) **「中干し:7日間延長」で温室効果ガスを削減!!**

**SDGs ⑬ 気候変動やその影響を減らすための「具体的な対策」として、今すぐ行動しよう!!**

地域全体で**「水田中干しを1週間延長」**して、**温室効果ガスの発生を抑制**します!!

水田の土壌中には、メタンを作る微生物（メタン生成菌）が住んでいます。この生成菌は酸素が少ない条件を好み、水稻を育てるために水田に水を張る（湛水する）ことで土壌中の酸素が少なくなり、生成菌の活動が活性化し、多量のメタンが生成され大気中に放出されてしまいます。

一方、中干し（浅水~落水管理）を徹底・延長することで土壌中には、しっかり酸素が供給されます。これにより生成菌の活動が衰え、弱い中干しや常時湛水した圃場よりも長く中干ししたほ場ではメタンの発生量が約70%削減されます。



【図：「1週間×延長中干し」のイメージ】

| 月日        | 6/5                            | 6/15      | 6/25            | 7/5                | 7/15 | 7/25 |
|-----------|--------------------------------|-----------|-----------------|--------------------|------|------|
| 生育ステージ    | 有効分げつ期 → 最高分げつ期                |           |                 | 幼穂形成期 ⇒ ⇒ ⇒ 出穂期    |      |      |
| 慣行中干し     | 浅水                             | 中干し       | 間断かん水           | 飽水管理 → → →         |      |      |
| 1週間×延長中干し | 浅水                             | 1週間×延長中干し |                 | 間断かん水 → 飽水管理 → → → |      |      |
| 1週間×延長中干し | 中干し期間                          |           | 必ず「小ヒビで終了」します!! |                    |      |      |
|           | 気象・圃場の条件によって長さ（期間）・強さを調整します!!  |           |                 |                    |      |      |
|           | 【遅くとも出穂1ヵ月前までに終了】              |           |                 |                    |      |      |
|           | *注① 晴天が続くときは適宜入水して「大ヒビに注意」!!   |           |                 |                    |      |      |
|           | *注② 入水した水は必ず1日以内に落水「長期湛水はダメ」!! |           |                 |                    |      |      |

これまで取り組んできた中干しを「7日間延長するイメージ」で幼穂形成期前まで“**延長中干し**”に取り組みましょう!!

裏面の「延ばし」も

## 2. 病害虫・本田雑草防除対策

### (1) 葉いもち対策

- ① 放置されている補植苗は、いもち病の発生源となります。→ 補植苗を速やかに撤去しましょう。
- ② いもち病の発生しやすいほ場（常発地域・転作大豆あと）や品種（わたぼうし・新之助など）で育苗箱処理剤（ブーンパディート箱粒剤など）による葉いもち防除を実施していない場合は・・・6月10日頃（中干し開始前）までに予防剤による葉いもち防除を徹底しましょう！ **ポイント**



田んぼに補植苗は残っていませんか？ → → →  
その補植苗!! → いもち病の発生源になります!!



| 資材名   | 10a使用量 | 使用時期                | 備考          |
|-------|--------|---------------------|-------------|
| ブーン粒剤 | 1kg    | いもちの初発前まで（収穫30日前まで） | 湛水散布（3~5cm） |

- ③ 茎数過剰は、葉いもちの発生を助長します。適期中干しにより過繁茂を防止しましょう。

### (2) 本田雑草防除対策

- ① “小ヒビ中干し”と“中干し後の飽水管理”により、田面が潤っている状態（土壌水分）を維持し、除草効果の急激な低下を防ぎましょう。⇒ **後発雑草対策**
- ② 本田内雑草（ヒエ・ホタルイ等）の発生は、“栄養競合による玄米品質の低下”や“斑点米発生リスクの増大”を招きます。雑草の発生状況や種類に応じて中後期除草剤による雑草防除を徹底して下さい。

#### ●【全品種共通で使用できる中後期除草剤】

| 種類  | 資材名            | 10a使用量                            | 使用時期（移植水稻）                       | 備考         |                            |
|-----|----------------|-----------------------------------|----------------------------------|------------|----------------------------|
| イネ科 | クリンチャー         | 1キロ粒剤                             | 1kg 移植後 7日~ノビエ4葉期(但し収穫30日前まで)    | ●●<br>湛水散布 |                            |
|     |                |                                   | 1.5kg 移植後 25日~ノビエ5葉期(但し収穫30日前まで) |            |                            |
|     |                | ジャンボ                              | 20個(1.0kg)                       |            | 移植後 7日~ノビエ4葉期(但し収穫30日前まで)  |
|     |                |                                   | 30個(1.5kg)                       |            | 移植後 25日~ノビエ5葉期(但し収穫30日前まで) |
|     | EW             | 100ml 移植後 20日~ノビエ6葉期(但し収穫30日前まで)  |                                  |            |                            |
|     | クリンチャーバス ME 液剤 | 1000ml 移植後 15日~ノビエ5葉期(但し収穫50日前まで) | ▼▼<br>落水散布                       |            |                            |
| 広葉  | バサグラン          | 粒剤                                | 3~4kg 移植後 15日~収穫45日前まで           |            |                            |
|     |                | 液剤                                | 500~700ml 移植後 15日~収穫45日前まで       |            |                            |

※ 雑草の種類や葉齢により使用時期が異なりますので、登録内容を確認してから使用して下さい。  
5割減栽培でクリンチャーバス ME 液剤を使用した場合は、クリンチャー及びバサグランの単剤を使用（併用）できませんので、注意して下さい。

#### ◆【特別栽培米（コシヒカリ BL・契約栽培こがねもち）以外の品種に使用可能な中・後期除草剤】

| 資材名      | 剤型規格      | 使用時期（移植水稻）                                    |
|----------|-----------|-----------------------------------------------|
| モグトン     | 粒剤・ジャンボ   | アオミドロ・藻類・表層はく離の発生時(但し 収穫45日前まで) 湛水散布          |
| セカンドショット | SジャンボMX   | 移植後 14日~ノビエ 3.5葉期(但し 収穫45日前まで) *省力中期中除草剤      |
| ツイゲキ     | 1キロ粒剤・豆つぶ | 移植後 14日~ノビエ 4葉期(但し 収穫60日前まで) *ノビエ+ホタルイ 20cmほか |
| ワイドショット  | 1キロ粒剤     | 移植後 15日~ノビエ 4葉期(但し 収穫45日前まで) *ノビエ+ホタルイ 4葉期ほか  |
| ロイヤント    | 乳剤:200ml  | 移植後 20日~ノビエ 5葉期(但し 収穫45日前まで) *ノビエ+クサネム 70cmほか |

取りこぼしてしまっ  
た雑草、  
後発してき  
た「問題雑草」  
をしっかりと防  
除しましょう!!

~~ 営農情報のお問い合わせは、お気軽に最寄りの営農センターへ ~~

次回稲作情報：6月中旬「生育速報、中干し以降の水管理、中間追肥、病害虫対策」（予定）

### (3) 斑点米カメムシ対策

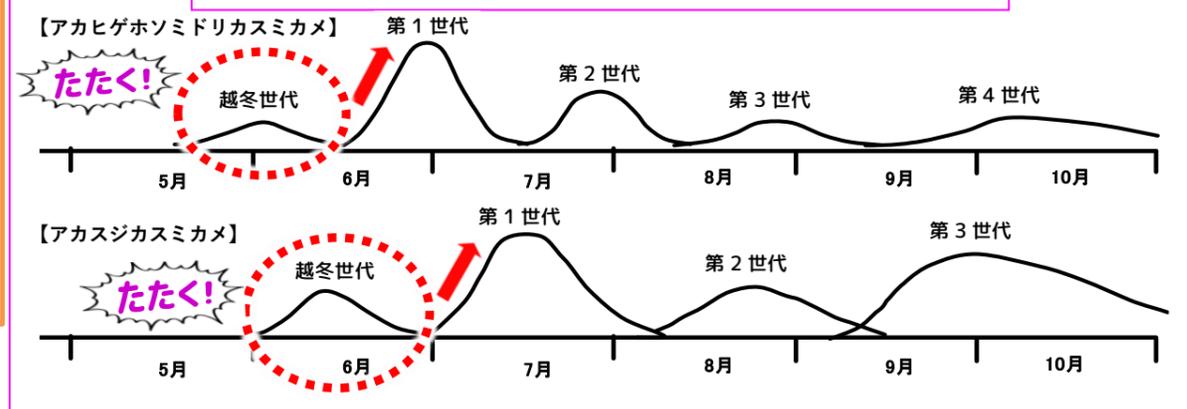
新潟県内の主要なカメムシ類のうち、カスミカメムシ2種（①アカスジカスミカメ・②アカヒゲミドリカスミカメ）は、2013年の急増以降「高止まり」の状態です。

また、令和6年のさんとう管内「斑点米による格落数量」は1,068俵/60kgで、前年・平年を大きく上回る結果となり、高温障害に伴う白未熟により格落ちした玄米製品にも相当数の斑点米被害粒の混入が確認されています。特に昨年は主要なカスミカメムシ類とホソハリカメムシの他、寺泊・和島地区の一部中山間地でクモヘリカメムシが突出して発生量が多くなり、令和7年におけるカメムシ類の発生動向にも注意が必要です。

写真：斑点米被害を発生させる主要カメムシ類（体長順）



図：アカヒゲホソミドリカスミカメ成虫・アカスジカスミカメ成虫の発生消長



バサグランの使用時期について登録内容が変更されました！  
変更前：移植後 15~55日（但し 収穫60日前まで）  
変更後：移植後 15日~収穫45日前まで



**警戒**



近年の温暖化~高温傾向によりカメムシ類の活動・増殖が活性化していることに加え、昨冬の暖冬によりカメムシ類が越冬しやすい条件となっていることから・・・  
**今春の越冬世代幼虫も平年以上に多くなるものと推察されます。**

**対策**

越冬・孵化した“越冬世代幼虫”は、農道・畦畔等のイネ科雑草を寄主・エサ場として増殖します!!  
カメムシ類の密度を低減~被害を軽減させるために、地域全体で連携して・・・  
**春先からイネ科雑草を出穂させない雑草管理を徹底しましょう!!**

“ただちに除草” 指名手配:「雑草」

メシバ

ナギナタガヤ



# 稲作情報

## No.7【中干し以降の水管理】

J A えちご中越 さんとう営農センター  
☎(0258)41-2887

|                |               |
|----------------|---------------|
| さんとう北営農センター    | ☎0258(74)3434 |
| さんとう営農センター 営農課 | ☎0258(42)4133 |
| こしじ営農センター      | ☎0258(92)5606 |

### 茎数が急増しているほ場が見られます!! 茎数確保できたほ場から直ちに中干し開始!!

コシヒカリ生育状況 (6月10日調査: 生育調査16地点 平均値)

5月に引き続き、6月に入ってもなお晴天の日が少ない状況ですが、気温は平年並みに推移しており、茎数が急激に増加(指標値比: 97%)しているほ場が見受けられます。(ほ場間差あり)

北陸地方では6月10日頃に梅雨入りし、以降は平年同様にくもりや雨の日が多くなる予報で茎数の急激な増加から過剰生育(→茎質低下)が懸念されます。ほ場ごとの生育(茎数)を確認して、目標茎数を確保できたほ場から速やかに中干し・溝切りを開始して下さい!!

- \* 草丈: 指標値比 97% → 平年並み
- \* 茎数: 指標値比 97% → 平年並み(ほ場間差大)
- \* 葉数: 指標値比 +0.0 葉 → 平年並み

本格的な雨降り前に地固めを開始しましょう!!



| 地区  | 田植日  | 草丈(cm) | 茎数(本/m <sup>2</sup> ) | 葉数(葉) |
|-----|------|--------|-----------------------|-------|
| 寺泊  | 5/6  | 30.6   | 195                   | 7.5   |
| 和島  | 5/8  | 28.1   | 294                   | 6.7   |
| 出雲崎 | 5/5  | 30.8   | 285                   | 7.7   |
| 与板  | 5/11 | 28.3   | 185                   | 6.6   |
| 三島  | 5/5  | 28.0   | 251                   | 7.3   |
| 越路  | 5/14 | 28.5   | 159                   | 6.7   |
| 平均  | 5/8  | 29.0   | 222                   | 7.0   |
| 指標値 | 5/10 | 30.0   | 230                   | 7.0   |

## 1. 中干し以降の水管理

「地球にいいこと」「未来にいいこと」地域みんなで始めよう!!



©フンジャ

### (1) 「SDGs」な水管理の手順

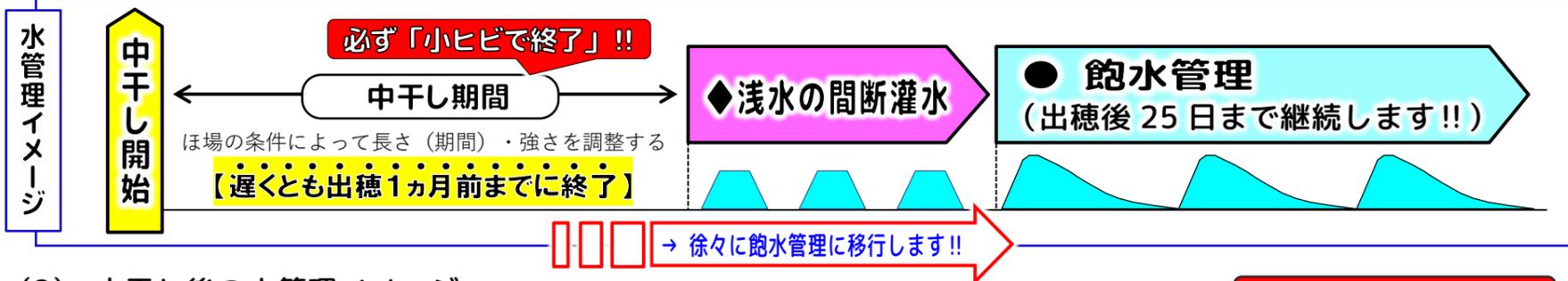
【図: 「1週間×延長中干し」のイメージ】

| 月日        | 6/5             | 6/15      | 6/25               | 7/5 | 7/15 | 7/25 |
|-----------|-----------------|-----------|--------------------|-----|------|------|
| 稲作ステージ    | 有効分げつ期 → 最高分げつ期 |           | 幼穂形成期 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 出穂期  |     |      |      |
| 慣行中干し     | 浅水              | 中干し       | 間断かん水 → 飽水管理 → → → |     |      |      |
| 1週間×延長中干し | 浅水              | 1週間×延長中干し | 間断かん水 → 飽水管理       |     |      |      |

左図を参考に地域全体で「1週間×延長中干し」に取り組みましょう(^^)/

地球温暖化に影響を及ぼしている「温室効果ガスの抑制」に向けてこれまで取り組んできた中干しを…「7日間延長するイメージ」で幼穂形成期前まで「延長中干し」に取り組みましょう!!

- \* 注① 晴天が続くときは適宜入水して「大ヒビに注意」!!
- \* 注② 入水した水は必ず1日以内に落水「長期湛水はダメ」!!



### (2) 中干し後の水管理イメージ

| 作業内容                                                                                                                                                                     | 水管理の概要                                                     | ポイント     |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|----------|
| ① 入水                                                                                                                                                                     | 田面の高い部分が隠れる程度まで入水します。                                      | 深水にし過ぎない |
| ② 湛水                                                                                                                                                                     | 根の機能低下防止のため、湛水期間は「1~2日程度」とします。                             | 長期間湛水しない |
| ③ 落水                                                                                                                                                                     | 入水完了から1~2日経過したら水尻をはらい、落水します。田面が乾ききる(田面が白くなる)前に「①入水」を開始します。 | 乾かし過ぎない  |
| ①~③の水管理を繰り返し行い、徐々に「飽水管理」に移行します。                                                                                                                                          |                                                            |          |
| ①' 入水                                                                                                                                                                    | 田面の溝や足跡から水がなくなる前に入水を開始します。→ 田面の高い部分が隠れる程度(水位3~5cm)まで入水します。 | 深水にし過ぎない |
| ②' 自然落水                                                                                                                                                                  | 水尻は、しっかり止水しておきます。自然な減水で田面に水がなくなり、溝や足跡の底の水がなくなる前に「①'入水」します。 | 乾かし過ぎない  |
| 出穂後25日以降まで①'~②'の水管理を繰り返し、根の健全化と地耐力の維持に努めます。                                                                                                                              |                                                            |          |
| <p>田面の高い部分が隠れる程度まで入水</p> <p>自然減水し、足跡や溝に水がなくなる前に再び入水</p> <p>この状態は乾かし過ぎです!</p> <p>水位 3~5cm</p> <p>①'入水</p> <p>②'自然減水</p> <p>①'入水</p> <p>②'自然減水</p> <p>* この水管理を繰り返します!!</p> |                                                            |          |

## 2. カメムシ対策

全地域一斉による農道・畦畔、雑種地等の草刈り・除草の徹底により、地域全体でカメムシ類の発生密度を低下させましょう!!

「カメムシ被害撲滅運動」第2弾

### 第1回 一斉草刈りウィーク

6月7日(土)~14日(土) 実施中!!

重点的に除草する雑草

メヒシバ、スズメノカタビラ、スズメノテッポウ、ナギナタガヤ

★ 雑草種子を結実させない!! **ポイント**

「幼穂形成期」以降は根の老化・減少が始まり、「新しい根」はほとんど発生しません!



補植苗は→直ちに撤去してください!!

根の「老化・断根」防止に向けて、中干し終了後には「飽水管理」に移行し、根の健全化に努めましょう!



~~ 営農情報のお問い合わせは、お気軽に最寄りの営農センターへ ~~

次回稲作情報: 6月下旬「生育速報、穂肥、病害虫防除」(予定)

田面や土壌の様子

### 3. 中間追肥

ケイ酸の施用は、高温条件下でも登熟の向上効果が期待できます。  
ケイ酸質肥料の施用で「異常気象に強い米づくり」を実践しよう！



#### ◆【ケイ酸質資材（中間追肥）の施用効果】

- ① 根張りの促進による倒伏軽減
- ② 登熟向上による乳白粒の発生軽減と食味向上
- ③ いもち病・ごま葉枯病への抵抗性の向上
- ④ 葉の蒸散機能が活性化して葉温を低下させる
- ⑤ 光合成の手助けをして日照不足などによる障害軽減 など  
… が期待でき、高品質・良食味米の生産につながります。

| 肥料区分   | 資材名          | 施肥量          | 施用時期         |
|--------|--------------|--------------|--------------|
| ケイ酸質肥料 | スーパーシリカプレミアム | 20～40 kg/10a | 出穂前 30～40 日頃 |
|        | けい酸加里プレミア 34 | 20～40 kg/10a | 出穂前 35～45 日頃 |
| 加里肥料   | 塩化加里 60%(粒状) | 7～10 kg/10a  | 出穂前 40 日頃    |
| 燐酸肥料   | マグコープ        | 20 kg/10a    | 出穂前 30～40 日頃 |

## 【本田中・後期除草剤の活用ポイント】

本田内にヒエ・ホタルイ等の雑草が多発生・繁茂してしまうと…

- ① 水稻と雑草との間で“**栄養の競合(奪い合い)**”が発生します。
- ② 出穂した本田内の雑草は、**カメムシ類の産卵・増殖場所**となります。

いずれも、水稻の品質・収量に大きな影響を及ぼすことから、本田内にヒエ・ホタルイ等の雑草が発生してしまったら、中・後期除草剤(クリンチャー・バサグラン)を上手に活用して、しっかり雑草防除しましょう！

### 1. イネ科雑草(ノビエ)対策 → 「クリンチャー剤」

ヒエ:水田や湿地などに生える一年草で、イネの最大の害草(栄養競合、カメムシのエサ)となります。ノビエ類は毎年種子から発芽して生育し、夏から秋にかけて出穂・開花・結実して種子を土壌面に落下させ、翌年の発生源・繁殖源となっています。はじめに線形の葉が出て、やがて分げつして大きな株になり、イネよりも草丈が高くなります。7～9月に花穂を出し、多数の種子を生産します。

農作業中の熱中症や事故  
には、十分注意してネ!!



水分・ミネラル補給と  
適度な休憩をとるのじゃ!

| クリンチャー 1kg粒剤 (ノビエ: 5葉期まで *1.5kg/10a 散布) |                               |         | クリンチャー EW (ノビエ: 6葉期まで)             |                                                                                                   |
|-----------------------------------------|-------------------------------|---------|------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 5cm程度に湛水して散布                          | ② 有効成分が水面に広がる<br>(注:藻類・表層はく離) | ③ ヒエに接触 | ① 落水した浅水状態                         | ② 展着剤を入れて丁寧に散布<br>【10aあたり薬液量】100ml<br>【散布機別の希釈水量】下記のとおり<br>・動力散布機等 → 25～100ℓ<br>・無人航空機 → 0.8～1.6ℓ |
| ★ ヒエの葉身と水面がしっかり接触するよう水位を調整します。          |                               |         | ★ 「展着剤+丁寧な散布」でヒエ本体にEW剤をしっかり付着させます。 |                                                                                                   |

### 2. イネ科以外の雑草(ホタルイ等)対策 → 「バサグラン剤」

ホタルイ:湿地や池沼のほりなどに生える多年草。水田では種子繁殖が主体で、種子は水田の湛水土中で発芽します。根元から多数の茎を出し、先に緑褐色で卵型の小穂を2～5個つけます。葉は退化して小さく、茎と連続しているように見えます。種子繁殖および株基部に形成される越冬芽による栄養繁殖を行います。繁茂させてしまうとイネの栄養分を奪い、出穂した小穂はカメムシの格好のエサ・産卵場所となります。

イネ科とイネ科以外の  
雑草が混発してしまったら…  
「クリンチャーバサME液剤」  
を活用して下さい!

～10aあたり使用方法～  
薬剤量:1,000ml  
希釈水量:70～100ℓ



| 【バサグラン粒剤:3～4kg/10a】【バサグラン液剤:500～700ml/10a・希釈水量70～100ℓ】(ホタルイ:発生盛期～増殖中期)                                                                 |                        |                      |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|----------------------|
| ① 水尻を切って落水する                                                                                                                           | ② 足あと水状態になったら水口・水尻を止める | ③ 雑草の発生箇所に粒剤・液剤を散布する |
| ★ 散布した薬剤成分は、根部・茎葉部から吸収されます。なるべく水深を浅くしてから散布します。(※ 乾かしすぎても効果が劣ります。)<br>★ 晴天が続く日を選んで散布し、散布後3日間は入水・落水しないようにします。降雨があっても散布後7日間は、落水しないようにします。 |                        |                      |

\*【注意】クリンチャー剤・バサグラン剤は、発生している草を枯らす「枯殺剤」です。これから発生しそうな発芽前の雑草を抑える抑草剤ではありません。早すぎる散布に注意して下さい! (★ 散布適期 = 発生初期:× → 増殖初期:◎)

## ★LINE登録のお願い★ JAえちご中越 さんとう営農センター

LINEでタイムリーな  
稲作情報をゲットじゃ!



いずれかの方法で  
簡単登録!



現在登録  
240名!

もっと友達が  
欲しいのじゃ!



最新の情報をいつでもスマホから! ご協力をよろしくお願いいたします!!

# 稲作情報

## No.8 「出穂予想～病害虫対策」

JAえちご中越 さんとう営農センター  
TEL (0258) 41-2887

令和7年 6月20日

農作業中の「事故や熱中症」には、十分注意してネ!



### 速報

#### コシヒカリ生育状況(6月19日 生育調査:16地点平均値)

6月上旬以降、平年に比べて気温は高く、向こう1ヶ月も高い見込みとなっています。6/19現在のコシヒカリの生育は平年に比べて茎数はやや少なく、葉齢の進みは早まっています。幼穂形成期・出穂期は、成熟期の早晚を問わず平年より「2日程度早まる」見込みです。

- ・草丈：指標値比 108%「長い」
- ・茎数：指標値比 92%「やや少ない」ほ場差大
- ・葉数：指標値差 +0.5「やや早い」
- ・葉色：指標値差 +2.7「やや濃い」

ほ場間の、茎数・葉色の生育較差が大きいことから、ほ場ごとの「生育診断」にもとづき適期に穂肥を施用しましょう!!

| 地区       | 田植日  | 草丈 (cm) | 茎数 (本/m <sup>2</sup> ) | 葉数 (葉) | 葉色 (SPAD) |
|----------|------|---------|------------------------|--------|-----------|
| 北部       | 5/6  | 40.8    | 397                    | 8.8    | 42.0      |
| 中部       | 5/8  | 39.6    | 372                    | 8.6    | 40.7      |
| こしじ      | 5/14 | 38.6    | 299                    | 8.5    | 41.9      |
| 平均       | 5/8  | 39.9    | 367                    | 8.7    | 41.7      |
| 6/20 指標値 | 5/9  | 37.0    | 400                    | 8.2    | 39.0      |

### 速報 その②

早生品種の出穂期は、平年より「2日早まる」見込みです。特に、早生・多収性品種の収量(籾数)を確保するには、1回目の穂肥施用時期が特に重要になります。下表の「穂肥時期・施肥量の目安」を参考に、遅れずに穂肥施用してください。

### 1. 出穂期及び穂肥時期(予想)

6/19現在の予想値です。  
早生品種の穂肥は、遅れずに施肥してネ!!



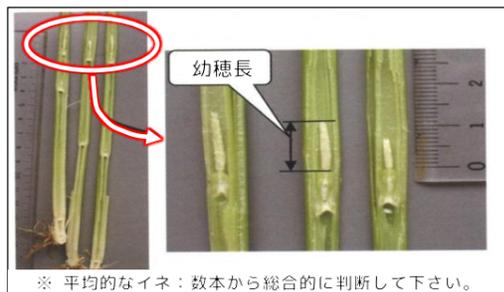
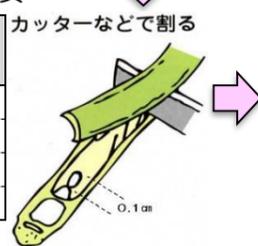
(1) 幼穂形成期及び出穂期予想と穂肥時期・施肥量の目安(令和7年6月19日現在)

| 品種名     | 幼穂形成期 | 出穂期   | 10a窒素成分(2回の合計) | 施用時期の目安 * ( )は出穂前日数 |                |
|---------|-------|-------|----------------|---------------------|----------------|
|         |       |       |                | 1回目                 | 2回目            |
| ゆきみらい   | 6月24日 | 7月17日 | 5~6 kg         | 6/24 (23)           | 7/4 (13)       |
| 五百万石    | 6月24日 | 7月17日 | 1~2 kg         | 6/27 (20)           | 7/5 (12)       |
| わたぼうし   | 6月27日 | 7月20日 | 2~3 kg         | 6/28~30 (22~20)     | 7/8~10 (12~10) |
| ゆきん子舞   | 6月29日 | 7月22日 | 5~6 kg         | 6/27~29 (25~23)     | 7/8 (14)       |
| こしいぶき   | 6月29日 | 7月22日 | 2~3 kg         | 6/29 (23)           | 7/8 (14)       |
| ゆきの精    | 6月29日 | 7月22日 | 2~3 kg         | 6/27~7/2 (25~20)    | 7/8~12 (14~10) |
| たかね錦    | 6月30日 | 7月23日 | 1~2 kg         | 7/3~5 (20~18)       | 7/9~13 (14~10) |
| こがねもち   | 7月5日  | 7月28日 | 1~3 kg         | 7/10~13 (18~15)     | 7/18 (10)      |
| コシヒカリ   | 7月10日 | 8月2日  | 1~3 kg         | 7/15~18 (18~15)     | 7/23 (10)      |
| にじのきらめき | 7月10日 | 8月2日  | 2~5 kg         | 7/3~8 (30~25)       | 7/19 (14)      |

※ 早生品種は5月1日~5日、中生品種は5月10日~15日移植を想定して予想しています。必ず、ほ場ごとに生育診断 = 「幼穂を確認」してから「穂肥時期・施肥量」を判断して下さい。

(2) 幼穂長と出穂前日数の目安

| 出穂前日数(日) | 幼穂長(cm) |
|----------|---------|
| 24       | 0.1     |
| 20       | 0.2     |
| 18       | 0.5~1.0 |
| 12       | 4.0~6.0 |



補植苗の撤去は終わったかな? 周りをもう1回チェックじゃ!

※ 平均的なイネ：数本から総合的に判断して下さい。

「注意! 警戒!!」 ↓ 管内にいもち病の感染好適条件が発現しています!!

(3) 1回目穂肥施用時の生育量の目安(主要品種)

| 項目       | ゆきん子舞             | こしいぶき | ゆきの精 | にじのきらめき | わたぼうし | ゆきみらい | 五百万石 | たかね錦 |
|----------|-------------------|-------|------|---------|-------|-------|------|------|
| 草丈(cm)   | 65                | 58    | 65   | 65      | 65    | 55    | 60   | 65   |
| 茎数(本/株)  | 30                | 28    | 25   | 28      | 24    | 25    | 22   | 22   |
| 葉数(葉)    | 10.5              | 10.7  | 11.0 | 10.5    | 10.5  | 9.7   | 11.0 | 11.0 |
| 葉色(SPAD) | 37~39             | 35~37 | 35   | 40~43   | 38    | 41    | 38   | 39   |
| 病害虫      | 葉いもち・紋枯病等が発生していない |       |      |         |       |       |      |      |

※ 窒素の多用(過剰施肥)は病害の発生を助長します。→必ず病害の発生状況を確認して下さい。  
※ 中晩生品種は次号掲載予定です。

### 2. SDGs な水管理

「小ヒビ中干し」→「浅水の間断灌水」→「飽水管理」を徹底!!

田面に「小ヒビが入り、軽く足跡がつく程度」になったら中干しを終了し、「浅水の間断灌水」から徐々に「飽水管理」に移行しましょう。中干しは遅くとも生殖生長への転換期(出穂の1ヵ月前)までに終了します。なお、**長期間にわたるタメ水は厳禁です。**(根腐れを助長→2日以内に落水!!)  
また、中干し開始が遅れた圃場や中干し効果が不十分なほ場を中心に、茎数過剰や葉色の濃いほ場があります。過剰な分けつは、倒伏を助長するとともに登熟がバラつき品質低下の要因となります。該当するほ場では、中干しを延長・継続して「根の健全化と稲体の活力強化」に努めましょう!!



「小ヒビ」の目安

“浅水の間断灌水”のイメージ



- ① 入水 田面の高い部分が隠れる程度まで入水!
- ② 湛水 根の機能維持のため、湛水期間は2日以内!
- ③ 落水 入水完了から2日以内に水尻を払って落水!

「地耐力の確保が不十分」で中干し期間を延長(長くしたい場合は…「浅水の間断灌水(①入水→③落水を繰り返すこと)」によって、大ヒビを入れないように水管理しましょう!!



### 3. 病害虫対策

⚠️ 「葉いもち病」の発生に注意・警戒してください!! ⚠️

(1) 葉いもち病…6/10「梅雨入り」→管内にいもち病の感染好適条件が発現しています!!

いもち病は、感染(長時間の濡れ=感染好適条件の発現)から約1週間後に病斑を確認することができます。発生しやすい地域(中山間地・沢地等)や品種、前年に多発生したほ場内をこまめに観察して、葉いもちの発生を確認した場合には早急に薬剤防除を実施して下さい。なお、今後の天候次第(高温・湿潤条件)では発生・被害が拡大する恐れがありますので、注意して下さい。

| 対象病害 | 薬剤名            | 使用量・希釈倍数                                | 摘要                |
|------|----------------|-----------------------------------------|-------------------|
| いもち病 | カスミン液剤         | 1,000倍                                  | 穂揃い期まで            |
|      | ゴウケツ1キロ粒剤【*】   | 1kg/10a                                 | 出穂5日前まで           |
|      | ブラシフロアブル・粉剤【*】 | 70アブル:100ℓ/10a (1,000倍)<br>粉剤:3~4kg/10a | 収穫7日前まで<br>ごま葉枯病等 |

※【\*】のゴウケツ剤・ブラシ剤は、特別栽培米に使用できません!! ご注意ください。

(2) 斑点米カメムシ…本田・農道畦畔における除草管理を徹底!!

気温の上昇とともに、カメムシ類の発生密度(確認地点率)が高まっています。→本田内(ヒエ・ホタルイ)および農道・畦畔(イネ科雑草)の雑草管理(草刈り・除草剤散布)を徹底することにより、斑点米カメムシ類の発生密度を抑制しましょう!

~~営農情報のお問い合わせは、お気軽に最寄りの営農センターへ~~  
次回稲作情報:7月初旬「生育状況、穂肥対応、病害虫対策」(予定)



# 稲作情報

No. 9 「穂肥対応～病害虫対策」

えちご中越 さんとう営農センター  
TEL: 0258 (41) 2887

令和7年 7月 1日

**注意** 今後1ヶ月の気候は晴天・高温が続く見込みとなっています!!  
ほ場ごとの生育診断にもとづき「**しっかり穂肥施肥**」しましょう!!

タメ水厳禁

高温・多照の影響によりほ場内の水温が上昇しています!!

お知らせ

農業中の「事故・熱中症」に注意してください!!

コシヒカリは、7月10日頃に「幼穂形成期」となります。この時期に行う生育診断結果と、左表の1回目穂肥施用時期の「生育めやす」を参考に、施肥時期・施肥量を判定しましょう!!

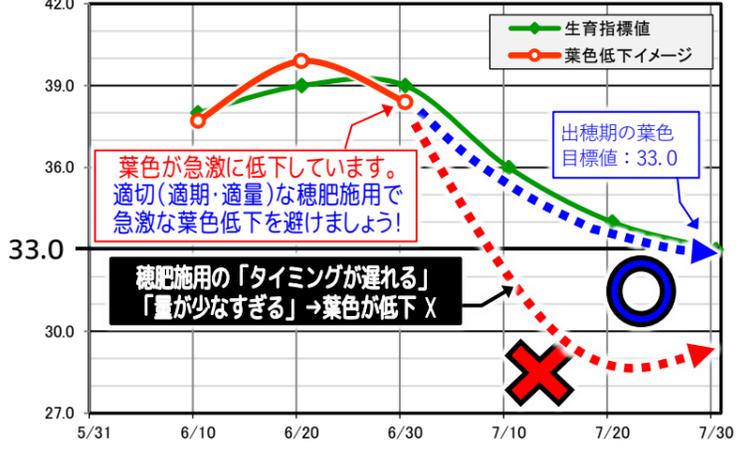
(3) 1回目穂肥施用時の生育めやす (中晩生品種)

| 項目        | コシヒカリ | 新之助   | 越淡麗  |
|-----------|-------|-------|------|
| 草丈 (cm)   | 70~75 | 66~72 | 75   |
| 茎数 (本/株)  | 22    | 35    | 23   |
| 葉数 (葉)    | 11.5  | 11.5  | 12.5 |
| 葉色 (SPAD) | 34    | 33~36 | 36   |

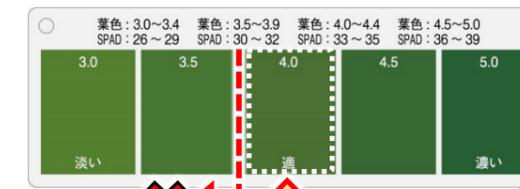
病害虫: 葉いもち・紋枯病等の病害虫が発生していない

※ 窒素の多用は、病害虫の発生を助長します。→ 必ず病害虫の発生状況を確認して下さい。

(4) コシヒカリの葉色管理のポイント



幼穂形成期から出穂期にかけて、葉色値が33以下とならない「タイミングと量」での確な穂肥を実施して下さい!  
\* 基肥一発施肥の場合も同様に、葉色低下時には追加穂肥を施用して下さい。



この葉色値を下回らないように… 適期・適量の穂肥対応としましょう!

## 速報

コシヒカリの生育状況 (6月30日調査: 地区別平均値)

6月後半も平年より気温の高い気象傾向が続いたことから、水稻の出穂期は、早生・中生・晩生品種ともに平年に比べて「2日以上早まる」見込みです。

【管内平均値と指標値の比較】  
・草丈: 指標値比 117% 「長い」  
・茎数: 指標値比 93% 「並」ほ場間差: 大  
・葉数: 指標値差 +0.6 葉 「やや早い」  
・葉色: 指標値差 -0.6 「並」ほ場間差: 大

| 地区  | 田植日  | 草丈 (cm) | 茎数 (本/m <sup>2</sup> ) | 葉数 (葉) | 葉色 (SPAD) |
|-----|------|---------|------------------------|--------|-----------|
| 北部  | 5/ 6 | 64.2    | 476                    | 10.4   | 38.6      |
| 中部  | 5/ 8 | 58.4    | 399                    | 10.1   | 37.1      |
| こしじ | 5/14 | 56.3    | 424                    | 10.3   | 39.5      |
| 平均  | 5/ 8 | 60.8    | 444                    | 10.3   | 38.4      |
| 指標値 | 5/10 | 52.0    | 480                    | 9.7    | 39.0      |

★注意★ 急激な葉色低下～栄養凋落が懸念されます。ほ場ごとの生育(草丈・葉色)を適切に診断して「**しっかり穂肥施用**」を心がけましょう!!

出穂期が早まっています。ほ場ごとの間差が大きいので、生育をよく見て遅れずに穂肥を施肥してネ!!

## 1. 穂肥施用

(1) 幼穂形成期及び出穂期予想と穂肥時期・施肥量の目安 (令和7年6月30日現在)

| 品種名     | 幼穂形成期 | 出穂期   | 10a窒素成分 (2回の合計) | 施用時期の目安 *( )は出穂前日数 |                 |
|---------|-------|-------|-----------------|--------------------|-----------------|
|         |       |       |                 | 1回目                | 2回目             |
| ゆきみらい   | 6月24日 | 7月17日 | 5~6 kg          | 6/25 (23)          | 7/ 4 (13)       |
| 五百万石    | 6月26日 | 7月19日 | 1~2 kg          | 6/30 (20)          | 7/ 7 (12)       |
| わたぼうし   | 6月27日 | 7月20日 | 2~3 kg          | 6/28~30 (22~20)    | 7/ 8~10 (12~10) |
| ゆきん子舞   | 6月29日 | 7月22日 | 5~6 kg          | 6/28~30 (25~23)    | 7/ 8 (14)       |
| こしいぶき   | 6月29日 | 7月22日 | 2~3 kg          | 6/30 (23)          | 7/ 8 (14)       |
| ゆきの精    | 6月29日 | 7月22日 | 2~3 kg          | 6/28~7/2 (25~20)   | 7/ 8~12 (14~10) |
| たかね錦    | 6月30日 | 7月23日 | 1~2 kg          | 7/ 3~ 5 (20~18)    | 7/ 9~13 (14~10) |
| こがねもち   | 7月 5日 | 7月28日 | 1~3 kg          | 7/10~13 (18~15)    | 7/18 (10)       |
| コシヒカリ   | 7月10日 | 8月 2日 | 1~3 kg          | 7/15~18 (18~15)    | 7/23 (10)       |
| にじのきらめき | 7月10日 | 8月 2日 | 2~5 kg          | 7/ 3~ 8 (30~25)    | 7/19 (14)       |

※ 適用移植期は、早生品種: 5月1日~5日、中生品種: 5月10日~15日移植です。今後の天候や生育状況、ほ場条件等により出穂期・幼穂形成期が前後しますので、必ずほ場ごとに幼穂を確認して、穂肥時期を判断して下さい!

(2) 幼穂長と出穂前日数の目安

| 出穂前日数 (日) | 幼穂長 (cm) |
|-----------|----------|
| 24        | 0.1      |
| 20        | 0.2      |
| 18        | 0.5~1.0  |
| 12        | 4.0~6.0  |



## 2. SDGs な後期水管理

- ① 中干し以降は、田面が強く乾くことのないよう飽水管理(土壌が潤っている状態)を徹底・継続します。また、高温・フェーン時には高温による障害を回避・軽減するために、なるべくこまめにかん水します。(「入水」⇔「落水」を繰り返し行って下さい!)
- ② 幼穂形成期以降は、極端に強い中干し(断根を助長)、長期間にわたるタメ水管理(根腐れを助長)は厳禁です! → 「SDGs な水管理」: 水は貴重な資源=かけ流しに注意して下さい。
- ③ 地耐力を確保できる限り、なるべく登熟後期まで飽水管理を継続することにより、土壌水分と後期栄養を維持し、フェーン現象等による土壌乾燥を防止(～高温障害を回避)します。⇒ 「最終かん水日」は出穂後25日以降を目安とし、あわせて暗渠栓の開放を可能な限り遅くします。

幼穂形成期を迎えています。直ちに「飽水管理」へ移行しましょう!!

## 3. 病害虫対策

注意 「葉いもち」の感染拡大に注意・警戒して下さい!! 注意

- (1) 葉いもち: 6/11・16に近隣地域でいもち病感染好適条件が発表され、当地域の一部でもいもち病の発生が確認されております。ほ場内をこまめに観察して、葉いもちの発生を確認した場合には早急に薬剤防除を実施して下さい。【● 特別栽培米: カスミン液剤、◆ 一般米: ブラシン剤】
- (2) イネ墨黒穂病: イネ墨黒穂病により汚損した玄米製品は、農産物検査で「規格外」となることから、わたぼうし・ゆきみらいのイネスミ防除を「必須防除」に位置付けて防除の徹底を呼び掛けています!!

★重要★ 防除適期: 出穂20日~10日前 | 防除薬剤: オリブライト250G(豆つぶ)

(3) 斑点米カメムシ類

7月5日(土)~7月12日(土)  
第2回「一斉草刈りウィーク」です!!

農道畦畔の重点対策雑草  
7月以降は「メジバ」を重点に雑草管理を徹底しましょう!

★一斉草刈りウィーク後も引き続き「雑草種子が結実しない間隔」で雑草管理を徹底して下さい!!

～営農情報のお問い合わせは、お気軽に最寄りの営農センターへ～  
次回稲作情報: 7月中旬「生育状況、穂肥対応、病害虫対策」(予定)

葉面もいもちに注意!!

# ★★★ 草丈と葉色で「穂肥を施用する時期と量」を診断しよう! ★★★

## 穂肥施用のポイント

- 1回目**：幼穂形成期（幼穂長0.1cmの時期）を確認して施肥時期・施肥量を決定する。早生の場合は、適期を逃さず施用する。コシヒカリの場合は、幼穂形成期に生育診断し、時期と量を判断する。  
 【手順1～4】（草丈が長い、葉色が濃い場合は施用を控える。→ 施肥量を減らす、施用時期を遅らせる。）
- 2回目**：後期栄養維持のため、確実に施用する。  
 ※ 出穂前10日以降の穂肥は、食味を低下させるので原則施用しない。ただし、葉色が極端（SPAD 32以下）に低下している場合や登熟期間の高温予想時には、出穂前までに生育にあわせて追加穂肥を施用する。  
 ※ 穂肥は必ず湛水して施用する。

～～ コシヒカリ穂肥施肥の心得 ～～

- ★その1: 0回目は、ムリせずほ場内の生育（葉色）をそえるイメージで!!
- ★その2: 0回目は、稲体の活力維持～玄米の登熟向上に向けてしっかり施肥します。**SPAD 値32以下は栄養失調状態です!!**



© ワンジャ

## 手順1：幼穂形成期の確認（幼穂長が0.1cmの時期）

- ① 平均的な生育の稲株：3株を選ぶ。
- ② 株の中で長い茎を2～3本選び株元から茎を引き抜き幼穂を確認する。
- ③ 調査株の8割以上が幼穂長0.1cm以上になった日を幼穂形成期とする。

| 出穂前日数（日） | 幼穂長（cm） |
|----------|---------|
| 24       | 0.1     |
| 20       | 0.2     |
| 18       | 0.5～1.0 |
| 12       | 4.0～6.0 |

幼穂形成期

幼穂形成期の生育診断をもとに1回目の穂肥時期・施肥量を判定し、穂肥を施用します!!

## 手順2：草丈と葉色を測る

幼穂形成期（幼穂長0.1cm、出穂前24日ころ）に草丈と葉色を測定する。

### ① 草丈

ほ場内の平均的な生育箇所、連続して10株程度ものさしで測る。

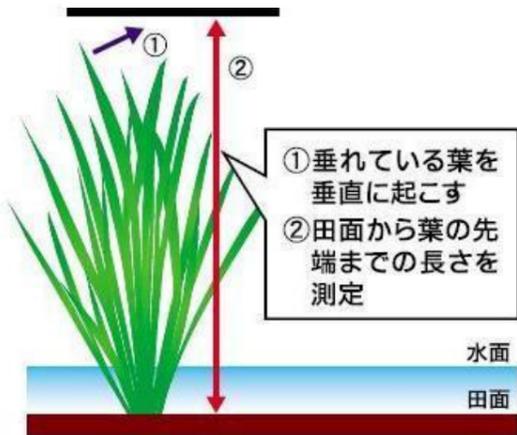


図1 草丈の測り方

### ② 葉色

平均的な生育の稲で最も長い茎を選び、現在伸びている葉の2枚下の葉を計測する。（10株程度）  
 ※ 葉色板から1cm程度離して色を比較する。

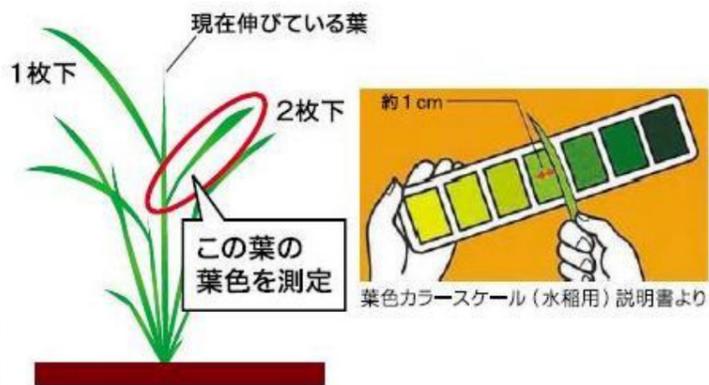


図2 葉色の測り方

## 手順3：グラフにあてはめる

草丈と葉色から、下記グラフのエリア（A.B.C）を確認する。

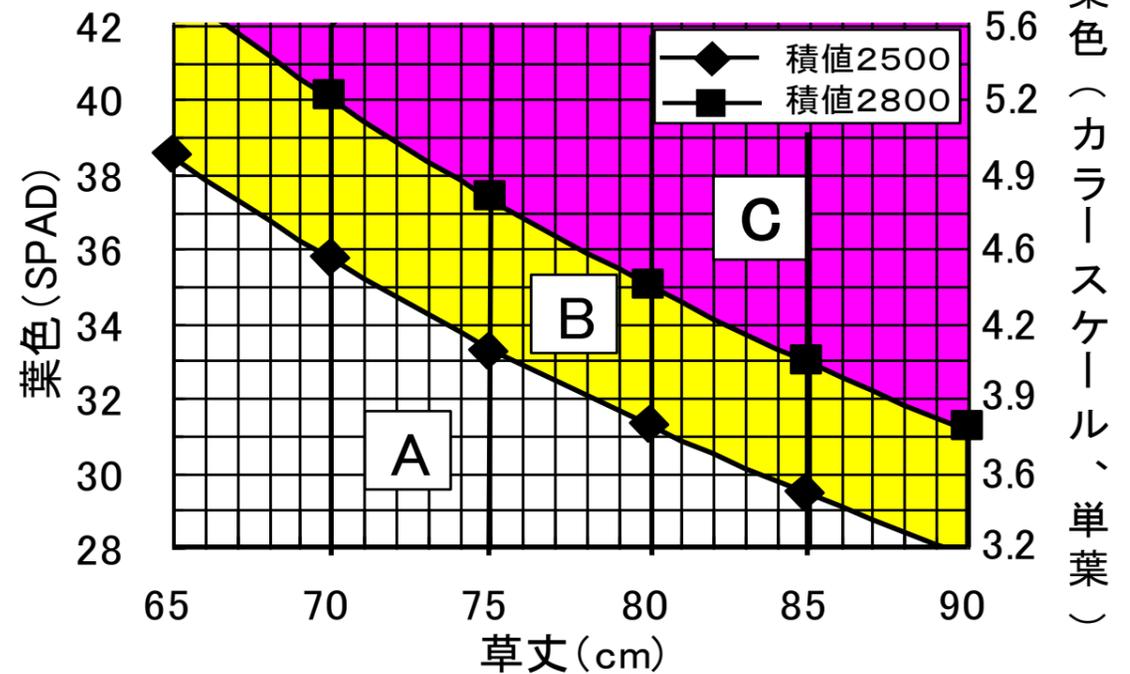


図3 幼穂形成期の生育量（草丈と葉色の積値）早見グラフ  
 積値：草丈（cm）× 葉色（SPAD）

## 手順4：コシヒカリ1回目の穂肥の判断

グラフエリア（A.B.C）と幼穂伸長期の1カ月気象予報をふまえて判断する。

6月26日発表：向こう1ヶ月の平均気温「高い確率：80%」→ 今年はこのエリアで判断して下さい。

| 幼穂形成期の生育量<br>(草丈cm × SPAD値) | 生育<br>早見グラフ | 幼穂伸長期の気象予報別の穂肥対応 |              |                                    |
|-----------------------------|-------------|------------------|--------------|------------------------------------|
|                             |             | 低温・少照・多雨         | 平年並          | 高温                                 |
| 2500未満                      | A           | ○△ 時期遅め、量を控えめ    | ◎ 出穂18日前に基準量 | ◎ 出穂18日前に基準量                       |
| 2500以上 2800未満               | B           | × 施用しない          | × 施用しない      | ○ 出穂15日前に基準量                       |
| 2800以上                      | C           | × 施用しない          | × 施用しない      | × △ 施用しない<br>ただし、異常高温の場合は、15日前に基準量 |

【参考：特別栽培米での10aあたり合計穂肥量の目安】 …… 生育量に応じて施肥量を調整しましょう!

| 元肥の種類     | 元肥施用量 | 越後の輝き有機50穂肥 | 参考：元肥との施用窒素の合計             |
|-----------|-------|-------------|----------------------------|
| 越後の輝き     | 30 kg | 30 kg       | 6.6 kg (うち、化学由来窒素 3.18 kg) |
| 有機元肥50エコ  | 35 kg | 25 kg       | 6.5 kg ( " 3.14 kg)        |
| 越後の輝き有機50 | 40 kg | 15 kg       | 6.6 kg ( " 3.22 kg)        |
| スーパー元肥ロング | 50 kg | 5 kg        | 6.6 kg ( " 3.24 kg)        |

※育苗箱等の施用肥料を含め、**トータル化学由来窒素量を 3.5kgN/10a 以下**の範囲内に調整してください!

# 稲作情報

## No.10 「穂肥対応～飽水管理」

J A えちご中越 さんとう営農センター

発行：令和7年 7月18日



過去に例のない高温によりコシヒカリの葉色が急激に低下!!

葉色を再確認→コシヒカリ2回目穂肥を「確実に施肥」しましょう!!

コシヒカリの生育状況 (7月17日調査：地区別平均値)

| 地区      | 田植日  | 草丈 (cm) | 茎数 (本/m <sup>2</sup> ) | 葉数 (葉) | 葉色 (SPAD) |
|---------|------|---------|------------------------|--------|-----------|
| 寺泊      | 5/7  | 91.0    | 431                    | 12.4   | 32.8      |
| 和島      | 5/8  | 79.2    | 406                    | 11.8   | 31.1      |
| 出雲崎     | 5/5  | 96.1    | 405                    | 12.8   | 30.9      |
| 与板      | 5/11 | 83.2    | 359                    | 11.9   | 28.9      |
| 三島      | 5/5  | 81.5    | 403                    | 12.4   | 29.9      |
| 越路      | 5/12 | 77.9    | 407                    | 12.3   | 32.4      |
| 平均      | 5/8  | 84.4    | 404                    | 12.2   | 31.2      |
| 7/20指標値 | 5/10 | 79.0    | 410                    | 12.0   | 34.0      |

葉色が30を下回る場合は散見されています!

梅雨入り後の6月中旬頃より、平年に比べて2~4℃ほど高い気温・多照で生育した経過から、草丈が伸長し、葉色が急激に低下している場合が多く見受けられます。

【管内平均値と指標値の比較】

- ・草丈：指標値比 107% 「やや長い」
- ・葉数：指標差 + 0.0 「並み」
- ・葉色：指標差 - 2.8 「薄い」

1回目の穂肥を控えた場合や一発元肥施肥量の少ない場合は、葉色が急激に低下し、登熟期間の栄養凋落による品質低下が懸念されます!!

急激な葉色低下に注意!! 出穂期前の「しっかり穂肥」で登熟期間の栄養を確保!!

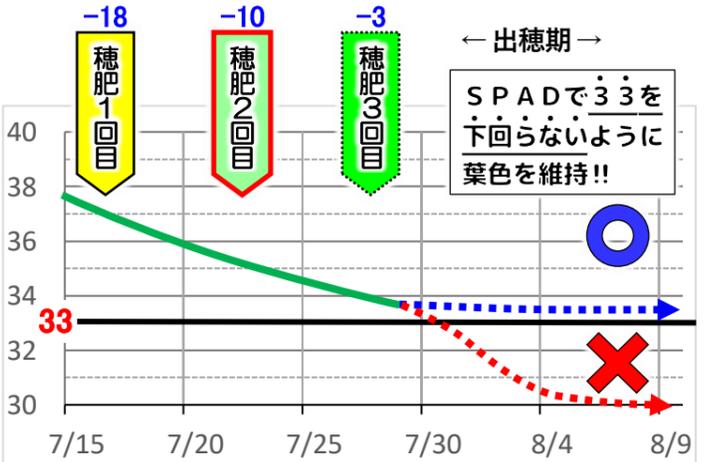
これまでの高温多照による葉色低下に加え、新潟地方気象台の予報では、向こう1か月の気温は高く推移する見込みです。これにより更なる葉色と品質の低下が懸念されますので、**高温に耐えられる稲姿**を維持するため、**県認証基準の範囲内 (トータル化学窒素成分3.5kg以内)**での穂肥の施用をお願いします!

また、一部出穂していても葉色が薄い場合は**3回目の穂肥**を検討しましょう!

**1. 後期栄養確保対策** 【要チェック】裏面に技術情報を掲載しています!

(1) 2回目 (出穂前10日頃) の穂肥対応：【分施肥体系】  
 コシヒカリの2回目 (出穂前10日) の穂肥時期を迎えています。**栄養不足による品質低下防止のため、出穂10日前の穂肥を確実に施用して下さい。** (窒素成分：1~1.5kg程度/10a)  
 →\*1：出穂前10日以降の施肥は稈長の伸長=倒伏に影響しませんのでしっかりと確実に施肥します。  
 \*2：1回目穂肥が出穂前18日より遅れた場合、1回目穂肥の7日後を目安に2回目を施用します。

(2) 出穂前10日以降の穂肥対応：【全量元肥体系・分施肥体系 共通】\*注) 特裁米の施肥量基準  
 出穂期までに葉色が極端に淡くなる (コシヒカリの場合：SPAD 3以下になる) 場合には、「出穂の3日前まで」に、生育にあわせて追加穂肥 (N成分1kg/10a程度) を施用して下さい。

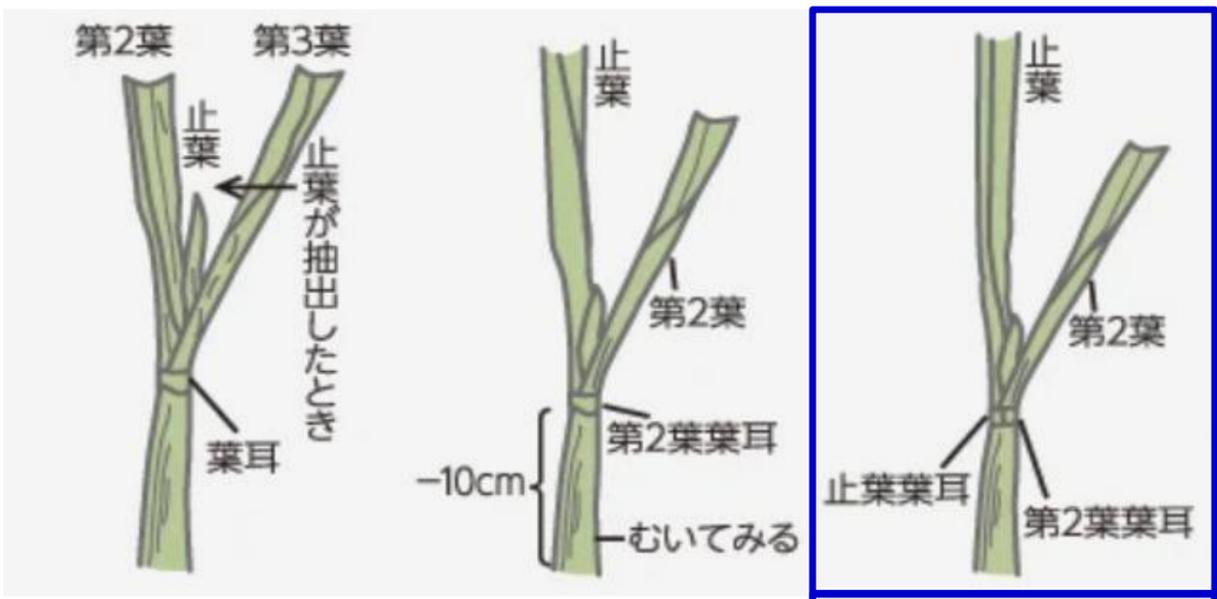


\*コシヒカリの節間はいつのびるの?(出穂前日数)

| 節位  | 伸長開始 | ピーク | 終了  |
|-----|------|-----|-----|
| 第5節 | -29  | -26 | -20 |
| 第4節 | -23  | -18 | -13 |
| 第3節 | -16  | -10 | -4  |
| 第2節 | -6   | -1  | +3  |
| 第1節 | -1   | +1  | +3  |

倒伏に影響する下位節間 (第5節・4節) の伸長は、出穂13日前には終了しています。→ **出穂前10日以降の施肥は、倒伏に影響しないので、しっかり施肥してネ!!**

(3) 止葉の出方で「出穂10日前」=2回目穂肥時期を診断しましょう!!  
 間もなくコシヒカリの2回目 (出穂前10日) の穂肥時期となります。下図：「止葉の出方と葉耳間長」を参考に葉の付け根にある突起=「葉耳」を観察して、2回目穂肥の散布適期 (止葉の葉耳とその下の葉の葉耳が並んだところ…葉耳間長0cm) を判断しましょう!!



水稻の出穂前最後に出る葉が止葉でその下から上位第2葉、第3葉となる…  
 止葉が抽出し始めると「出穂のおよそ18日前」

止葉の抽出が進んだら葉鞘をむいてみる…  
 葉耳間長-10cmで「出穂のおよそ12日前」

止葉の葉耳と第2葉の葉耳が重なったとき…  
 葉耳間長±0cmで「出穂のおよそ10日前」→2回目穂肥の散布適期です!!

※トータル化学窒素成分が3.5kg/10aを超過する場合、有機100%穂肥 (みらい有機831等) を施用してください。

(4) 「出穂10日前」の葉色を診断して穂肥施肥量を決定しましょう!!

コシヒカリの登熟期間に高温気象が予想される場合「出穂期の葉色」=SPAD値が33を下回らないように穂肥施用することが、最も重要な技術対策となります。以下の手順で出穂10日前の葉色を診断し、2回目穂肥の施肥量を決定します。

- 1 上図 (3) 止葉の出方と葉耳間長を参考に、2回目穂肥時期を診断します。
  - 2 止葉の葉耳と第2葉の葉耳が重なったとき (出穂10日前) に、SPADで葉色を測定します。
  - 3 測定されたSPAD値を右表の★出穂10日前SPAD測定値にあてはめ、N施肥量と穂肥施肥量を診断します。
- \*例) 出穂10日前のSPAD値が31.0と測定された場合、必要となる穂肥N施肥量は1.521kg/10aとなり、越後の輝き有機50穂肥を施肥する場合、10aあたり施肥量：12.7kgと診断します。

出穂10日前の葉色と穂肥施肥量「診断表」

| 出穂期目標 SPAD 値 | ★出穂10日前 SPAD 測定値 | 2回目穂肥 N 施肥量 (kg/10a) | 越後の輝き有機 50穂肥 施肥量 (kg/10a) |
|--------------|------------------|----------------------|---------------------------|
|              | 28.0             | 2.473                | 20.6                      |
|              | 28.5             | 2.315                | 19.3                      |
|              | 29.0             | 2.156                | 18.0                      |
|              | 29.5             | 1.997                | 16.6                      |
|              | 30.0             | 1.839                | 15.3                      |
|              | 30.5             | 1.680                | 14.0                      |
|              | *31.0            | *1.521               | *12.7                     |
|              | 31.5             | 1.363                | 11.4                      |
|              | 32.0             | 1.204                | 10.0                      |
|              | 32.5             | 1.045                | 8.7                       |
|              | 33.0             | 0.887                | 7.4                       |
|              | 33.5以上           | 0.728                | 6.1                       |

★注) 県認証特裁米 化学N使用基準量: 3.5kg/10a以下となるよう施肥設計してください。

## 2. 病害対策



### (1) いもち病

6/11・16に近隣地域でいもち病感染好適条件が発表され、当地域の一部でもいもち病の発生が確認されております。葉いもちから穂いもちへ感染拡大する時期となりますので**上位葉での発生・病斑を確認したら、ただちに薬剤防除（カスミン液剤）を実施してください。**

### (2) 紋枯病

高温+多湿条件下で紋枯病は発生しやすくなります。前年に多発生したほ場や発生しやすい品種では、梅雨明け以降の気温上昇でさらに病状・被害が進展しやすくなります。発病（発病株率：10%以上）が確認されたら、薬剤防除（バリダシン剤）を実施してください。



こまめにほ場を巡回して、いもち病・紋枯病の発生状況を確認してネ!!



## 3. 斑点米カメムシ対策

出穂の早い五百万石・ゆきみらい等は、防除適期となっております。適正な水管理で、防除効果を高めましょう!!



## 警戒! 7/10新潟県内にカメムシ類の「多発生注意報」が発令!!

### ① 水田内および水田周辺の雑草管理の徹底!!

発生密度の抑制・低減

### 斑点米カメムシ撲滅運動：第4弾!!

### ② 本田防除薬剤の適期散布

アカスジカスミカメ

平年に比べ“多”発生!!



無人ヘリ防除の除外区域 = 「粒剤・豆つぶ剤散布区域」では、品種ごと・ほ場ごとの散布適期：穂揃い期（出穂期の5日後～7日後）に薬剤防除を実施して下さい。

| 薬剤名      | 使用量      | 散布時の水管理                      |
|----------|----------|------------------------------|
| スタークル粒剤  | 3kg/10a  | 田面が湿った状態（飽水状態）～深い部分で3cm程度の浅水 |
| スタークル豆つぶ | 250g/10a | ほ場全体を3～5cmにしっかり湛水（漏水田等での使用×） |

### 出穂期



### 散布最適期



出穂期7日後

薬剤散布直後は、降雨による水田水のオーバーフローに注意してネ!

ポイント

### 薬剤散布時・散布後の作業ポイント

- ① スタークル剤は、降雨により薬剤効果に“ブレ”が生じます。天候が安定している期間に散布して下さい。
- ② 散布後に少量の降雨が予想される場合は、水尻をしっかり止めてヒタヒタ水の浅水状態で散布して下さい。
- ③ 散布後4～5日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は“落水やかけ流しはしない”で下さい。
- ④ 薬剤散布後も、引き続き“イネ科雑草種子が結実しない間隔”での雑草管理を徹底しましょう!

## 農作業中の「熱中症」には、十分注意してネ!!

～～営農情報のお問い合わせは、お気軽に最寄りの営農センターへ～～  
次回稲作情報：8月上旬「生育状況、刈り取り適期予想、後期水管理」（予定）

## 特別号：3回目穂肥の実施と判断方法

～～ 出穂6日前頃を判断期限とし、3回目の穂肥を実施しましょう! ～～

(1) コシヒカリの葉色が薄いほ場では、下表を参考に出穂期前に窒素成分1～2kg/10aを目安に追加の穂肥を施用してください(出穂期の葉色目安:SPAD値33)。

(2) 全量基肥施肥のほ場でも、葉色が薄い場合は追加の穂肥を施用してください。

(3) 施用効果を高めるために、飽水管理を徹底しましょう。

品質向上のため、もうひと踏ん張り  
お願いします!!



### 【コシヒカリ5割減栽培における追加穂肥の目安】

| 施肥条件        | 判断時期と葉色値の目安                       | 残りのトータル化学窒素量 | 使用肥料例                      | 10aあたり施用の目安                                |
|-------------|-----------------------------------|--------------|----------------------------|--------------------------------------------|
| 分施<br>3回目穂肥 | 出穂期3日前<br>葉色値31以下                 | 0.5～1.0Nkg   | ドローン用尿素43 ※1               | 出穂期3日前<br>1.1kg(0.5Nkg)～<br>2.3kg(1.0Nkg)  |
|             | 出穂期6日前<br>葉色値33以下                 | 0.5Nkg       | 越後の輝き<br>有機50穂肥 ※1         | 出穂期3日前<br>8.3kg(1.0Nkg)                    |
| 0Nkg        |                                   | みらい有機831 ※2  | 出穂期6～3日前<br>12.5kg(1.0Nkg) |                                            |
| 全量基肥<br>追肥  | 出穂期の葉色値が<br>32～33を下回ると<br>予想されるとき | 0.5～1.0Nkg   | ドローン用尿素43 ※1               | 出穂期10日前<br>1.1kg(0.5Nkg)～<br>2.3kg(1.0Nkg) |
|             | 出穂期10日前後<br>葉色値30以下               | 0Nkg         | みらい有機831 ※2                | 出穂期10～5日前<br>25kg(2.0Nkg)                  |

※1 トータル化学窒素3.5kg/10a以内で施用してください

※2 他の有機質100%肥料でも代替可能です(例:鶏ちゃんパワー など)

## ご案内① 水稻の「生育診断」はJAにお任せください!!

皆さまからのご要望で現地ほ場に出向き、水稻の幼穂長や草丈・茎数・葉色等の生育を診断し、穂肥施用と栽培管理を個別に指導します。

2回目・3回目穂肥の判断に是非ご活用下さい!!

「生育診断チーム」設置・活動期間：7月上旬～7月下旬まで  
～ 詳細につきましては、お気軽に最寄りの営農センターへお問い合わせください!!～

## ご案内② さんとう地区あぐりセンターの営業について

あぐりセンターの営業は、8月2日(土)～8月17日(日)の休日が  
**休業**となりますのでご注意ください。

| 生育診断のお問い合わせ先  |                 | 肥料・農薬・資材のお問い合わせ先 |                 |
|---------------|-----------------|------------------|-----------------|
| さんとう北営農センター   | ☎0258 (74) 3434 | あぐりセンターわしま店      | ☎0258 (74) 3176 |
| さんとう営農センター営農課 | ☎0258 (42) 4133 | あぐりセンターみしま店      | ☎0258 (42) 2240 |
| こしじ営農センター     | ☎0258 (92) 5606 | あぐりセンターこしじ店      | ☎0258 (92) 5604 |

# 稲作情報

## No.11 「肥培管理～刈取予想」

J A えちご中越 さんとう営農センター  
TEL : 0258 (41) 2887 令和7年7月31日

豊かな水で育む「さんとう産米」↓地域の水利条件に応じた「飽水管理」に取り組みましょう!!

水稻は最も水分を必要とする「出穂期～穂ぞろい期」を迎えています。

コシヒカリの生育状況(7月30日調査:調査地点平均値)

| 項目   | 田植日  | 草丈(cm) | 茎数(本/㎡) | 葉数(葉) | 葉色(SPAD) |
|------|------|--------|---------|-------|----------|
| 寺泊   | 5/7  | 110    | 384     | 13.4  | 31.8     |
| 和島   | 5/8  | 98     | 389     | 13.0  | 29.4     |
| 出雲崎  | 5/5  | 107    | 385     | 13.6  | 30.7     |
| 与板   | 5/11 | 101    | 362     | 13.0  | 29.9     |
| 三島   | 5/5  | 100    | 397     | 13.0  | 30.1     |
| 越路   | 5/12 | 96     | 354     | 13.6  | 31.2     |
| 管内平均 | 5/8  | 102    | 376     | 13.3  | 30.6     |
| 指標値  | 5/10 | 92     | 360     | 13.0  | 33.0     |

・草丈:指標値比 110%「長い」  
・葉数:指標値差 +0.3「一部で追加葉あり」  
・葉色:指標値差 -2.4「淡い」

- ① 7月下旬以降も依然として平年より高い気温に加え、無降雨状態が続いたことで稲体への影響が見受けられます。
- ② 2回目穂肥の積極施用により、極端な葉色低下は抑えられていますが、依然として「淡い」状態です。

→葉色が淡い圃場は3回目の穂肥を施用しましょう!

北陸地方の向こう1カ月(7/26~8/25)の天候予想:【新潟地方気象台 7/24 発表】

- ◎ 平均気温:高い → 期間の前半は気温がかなり高くなる見込み
- ◎ 日照時間:並~多い ◎ 降水量:並 → 期間のはじめは降水量が少ない状態が続く
- ◎ 週別の気温 → 1週目(7/26~8/1)は平年より高い確率が80%、2週目(8/2~8/8)は高い確率が70%、3~4週目(8/9~22)は高い確率が60%

### 1. 登熟期間の水管理

× 極端に大きなヒビ割れ(断根を助長)、長期間にわたるタメ水(根腐れを助長)は厳禁です。

→但し、フェーンの発生が予想される場合は溜水し、白穂や不稔を防止しましょう!

- 登熟期間は、平年より気温が高くなる気象予報です。田面が強く乾くことのないよう、できるだけ飽水管理をしましょう。高温障害を軽減するため、こまめにかん水しましょう。
- 地耐力が確保できる限り、なるべく「登熟後期まで」飽水管理を継続することにより、土壌水分を維持しましょう。

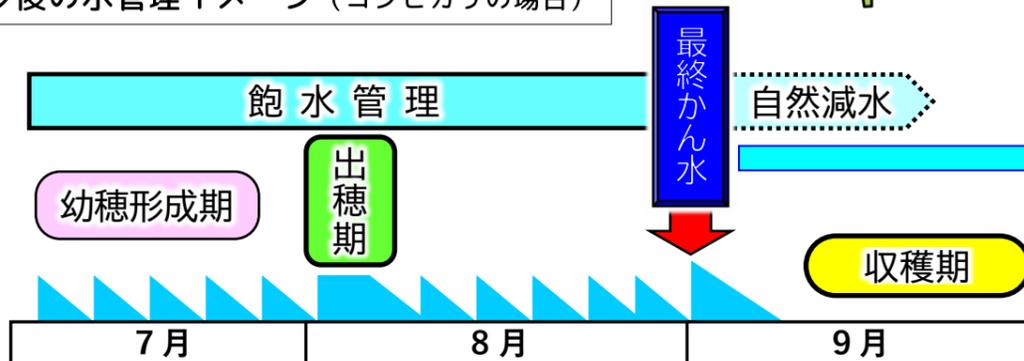


品質 ↓  
収量 ↓

暑い...

お水がほしい...

今後の水管理イメージ(コシヒカリの場合)



### 2. 出穂期と刈取適期(予想)

7/30 現在、収穫は早まる見込みです!

コシヒカリの出穂が始まっています。(管内全体のコシヒカリ出穂期:7/29~8/9(平年比2日早い)→ 北部地区:7/29~8/2、中部地区:8/2~8/5、こしじ地区:7/30~8/9)

下表の刈取適期(予想)を参考に適期収穫に向けた刈取作業計画を立ててください。また、**作業中の事故・熱中症**にも注意しながら刈取作業(機械の点検・清掃)の準備を進めてください。

~さんとう地区 全域版~

| 品種名     | 出穂期(※は予想)   | 刈取適期(予想)    | 積算温度の目安      |
|---------|-------------|-------------|--------------|
| ゆきみらい   | 7月13日~7月22日 | 8月17日~8月27日 | 975℃         |
| 五百万石    | 7月14日~7月21日 | 8月18日~8月26日 |              |
| わたぼうし   | 7月14日~7月22日 | 8月18日~8月27日 |              |
| ゆきん子舞   | 7月22日~7月25日 | 8月27日~8月31日 |              |
| こしいぶき   | 7月22日~7月27日 | 8月27日~9月2日  |              |
| ゆきの精    | 7月23日~7月25日 | 8月29日~8月31日 |              |
| たかね錦    | 7月19日~7月26日 | 8月24日~9月1日  | 1,000℃       |
| こがねもち   | 7月24日~7月27日 | 8月30日~9月4日  |              |
| コシヒカリ   | 7月29日~8月9日※ | 9月6日~9月19日  |              |
| 越淡麗     | 8月7日~8月15日※ | 9月17日~9月27日 | 1,000~1,050℃ |
| 千秋楽     | 8月7日~8月17日※ | 9月17日~9月29日 |              |
| 新之助     | 8月9日~8月15日※ | 9月21日~9月29日 | 1,050~1,100℃ |
| にじのきらめき | 8月1日~8月6日※  | 9月13日~9月20日 | 1,100~1,200℃ |

\* 刈取適期(予想):長岡アメダスデータの積算で算出(7月29日までは本年値、以降は平年値)  
\* あくまでも目安です。今後の天候やほ場ごとの出穂期・栽培条件等により前後します。

### 3. 斑点米カメムシ対策

斑点米被害を発生させるカメムシ類



スタークル粒剤・豆つぶ剤散布区域(共同防除の除外区域)では、ほ場ごとの散布適期【出穂期の5日後~7日後(穂ぞろい期)】に薬剤防除しましょう。また、越冬成虫(次世代成虫)発生密度の低減を目的として、出穂・収穫後も引き続き「イネ科雑草種子が結実しない間隔」で雑草管理を徹底して下さい!!

**徹底!** 「最終かん水日」は **出穂後25日以降** を目安とし、あわせて **暗渠栓の開放を可能な限り遅く** します。

~~営農情報のお問い合わせは、お気軽に最寄りの営農センターへ~~  
次回稲作情報:8月上旬「刈取適期・収穫期対策」(予定)

裏面が「稲作情報」



# 稲作情報

## No.12 「登熟後期の水管理～適期刈取」

JAえちご中越 こしじ営農センター  
TEL: 0258 (92) 5606

登熟期の異常高温に負けない「丈夫な稲づくり」の実践を!!

令和7年8月7日

### 地域の水利事情に応じ、可能な限りほ場が乾かないよう水管理を行いましょう!

例年にない高温・多照・空梅雨の影響により稲体活力の消耗が顕著に表れました。ようやく今週より降雨が続く予報となりましたが、北陸地方の2週間予報(8/2~15)では高温推移する予報となっています。「新之助」等のいもち病に弱い品種の発生に注意を払うとともに、高温障害の発生を少しでも軽減するため、以下の対策を徹底して

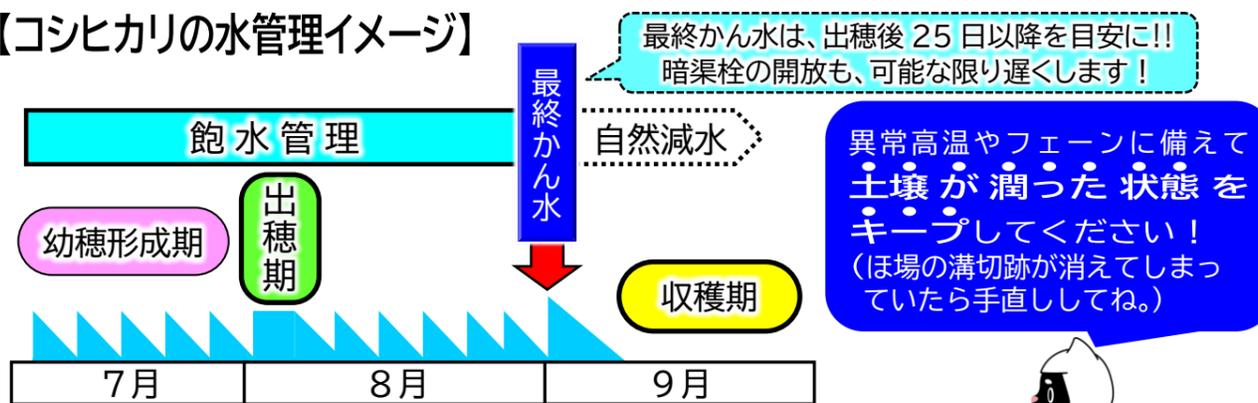
→ 「高品質米の生産」及び「収量UP」を目指しましょう!!

#### 1. 登熟後期の水管理

用水機場の運転スケジュールを確認して、計画的に「水かけ」してネ!!

- 長時間(24時間以上)のタメ水は、根の活力・機能低下を招きます。特に日中に暖まった水で湛水状態のまま夜を迎えると夜間の涼しい時間帯でも「外気温以上の水温」となり、稲体を消耗させ、養分転流(登熟)を阻害してしまいます。さらに根の活力・機能の低下は、養水分の吸収能力低下の要因となり、登熟に大きな悪影響を及ぼします。→【品質低下】  
(\*但し、湯水やフェーン時は地域の水利事情に応じて、できるだけほ場が乾かないようにしましょう。)
- 早すぎる落水(出穂後25日前の完全落水)は、籾水分の過度の低下による品質の低下(胴割粒・未熟粒の発生)につながります。可能な限り、収穫間際まで飽水管理を継続しましょう!!

#### 【コシヒカリの水管理イメージ】



#### 2. 適期収穫

葉や茎の色ではなく、「籾の色」で刈取適期を判断してネ!!

- 出穂日以降の積算温度に基づく刈取適期予想【右表】を参考に作業計画を策定して下さい。今後も高温気象が続く予想となっていることから、早めにほ場ごとの籾黄化割合を観察して「黄化割合が85~90%程度になった時期」に収穫作業を開始して下さい!!
- 刈取適期以降は日を追って胴割粒の発生率が増加します。刈取適期から遅くとも5日以内に刈り取りできるように作業計画を策定し、乾燥機的能力に限界がある場合には、カントリーエレベーターやライスセンターの共乾施設利用により、適期刈取に努めて下さい。

× 早刈り → 未熟粒の混入増加、収量低下  
× 刈遅れ → 胴割米・着色米の増加、倒伏助長

### 3. 刈取適期予想【さんとう地区 こしじ版】

| 品種名     | 出穂期(予想)     | 刈取適期(予想)    | 積算温度の目安               |
|---------|-------------|-------------|-----------------------|
| ゆきみらい   | 7月12日～7月16日 | 8月14日～8月19日 | 高温年: 925°C<br>(975°C) |
| 五百万石    | 7月16日～7月20日 | 8月19日～8月23日 |                       |
| わたぼうし   | 7月14日～7月23日 | 8月16日～8月27日 |                       |
| ゆきん子舞   | 7月20日～7月24日 | 8月25日～8月29日 |                       |
| こしいぶき   | 7月22日～7月28日 | 8月26日～9月2日  |                       |
| ゆきの精    | 7月25日～7月28日 | 8月29日～9月2日  |                       |
| たかね錦    | 7月19日～7月30日 | 8月22日～9月4日  | 1,000°C               |
| こがねもち   | 7月23日～7月31日 | 8月30日～9月8日  |                       |
| コシヒカリ   | 7月28日～8月7日  | 9月5日～9月17日  | 1,000~1,050°C         |
| 越淡麗     | 8月6日～8月13日  | 9月15日～9月24日 |                       |
| 千秋楽     | 8月12日～8月17日 | 9月23日～9月30日 | 1,050~1,100°C         |
| 新之助     | 8月11日～8月19日 | 9月24日～10月5日 |                       |
| にじのきらめき | 8月5日～8月9日   | 9月19日～9月24日 | 1,100~1,200°C         |

\* 上表は、あくまでもめやすです。今後の天候やほ場ごとの出穂期・施肥量等により前後します。  
\* 上表を参考にほ場ごとの黄化割合を確認し、総合的に収穫適期を判断して下さい。

#### 刈取適期うちわ

ほ場ごとの「収穫適期を判定」します!!



#### 「刈り遅れ」に要注意!!

早生品種は、出穂後の気温が高く胴割粒の発生リスクが非常に高まっています。今後の気象予報と籾の黄化割合を確認しながら、収穫作業を開始してください

水稻の収穫適期は、黄化割合が85~90%程度になった頃(上位3~4本目の1次枝梗に着生する2次枝梗が黄化した頃)です。

※ 栽培条件等により、収穫適期が前後します。

#### 4. 適正な乾燥・調製

農作業中の「事故・熱中症」に注意してください!!

- ◇ 収穫後は、籾を速やかに乾燥機に搬入～通風し、ヤケ米の発生を防止しましょう。
- ◇ 胴割米の発生を防止するため、乾燥機の毎時乾減水分は0.5~0.6%としましょう。0.8%を超えると、胴割米の発生率が急激に高くなります。  
→ 成熟期～収穫期の高温により、立毛胴割れが予想される場合は、毎時乾燥速度が0.5%以下になるよう送風温度を低く設定するとともに、過乾燥には十分に注意してください。
- ◇ 仕上げ水分は「14.5~15.0%」に仕上げましょう。→ 過乾燥は胴割れ・食味低下を招き、高水分玄米(15%以上)は、玄米水分の戻りによるカビ米の発生原因となります。

～～営農情報のお問い合わせは、お気軽に最寄りの営農センターへ～～  
次回稲作情報: 9月上旬「稲わら秋すき込み、土づくり」(予定)

「収穫適期を判定」↓ 適期収穫・適正な乾燥調製で「高品質米生産」を目指しましょう!!





# 稲作情報

## No.12 「登熟後期の水管理～適期刈取」

JAえちご中越 さんとう営農センター 営農課  
TEL: 0258 (42) 4133

登熟期の異常高温に負けない「丈夫な稲づくり」の実践を!!

令和7年8月7日

### 地域の水利事情に応じ、可能な限りほ場が乾かないよう水管理を行いましょう!

例年にない高温・多照・空梅雨の影響により稲体活力の消耗が顕著に表れました。ようやく今週より降雨が続く予報となりましたが、北陸地方の2週間予報(8/2~15)では高温推移する予報となっています。「新之助」等のいもち病に弱い品種の発生に注意を払うとともに、高温障害の発生を少しでも軽減するため、以下の対策を徹底して

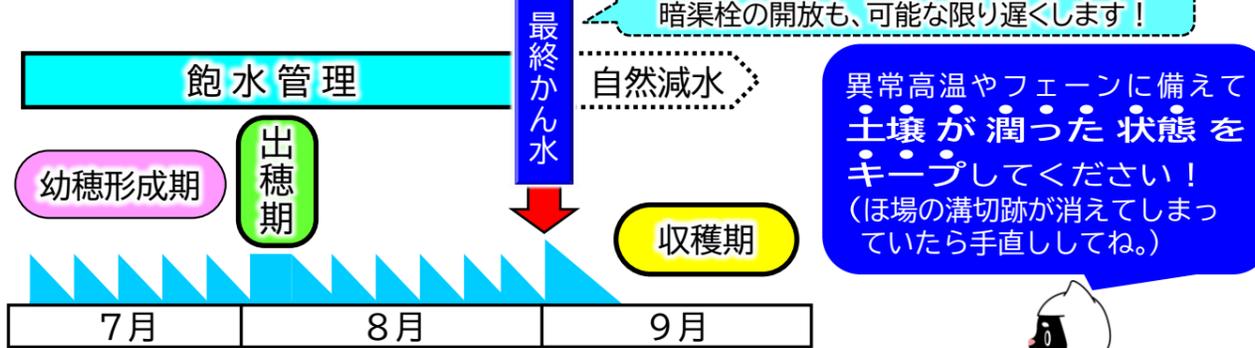
→ 「高品質米の生産」及び「収量UP」を目指しましょう!!

#### 1. 登熟後期の水管理

用水機場の運転スケジュールを確認して、計画的に「水かけ」してネ!!

- 長時間(24時間以上)のタメ水は、根の活力・機能低下を招きます。特に日中に暖まった水で湛水状態のまま夜を迎えると夜間の涼しい時間帯でも「外気温以上の水温」となり、稲体を消耗させ、養分転流(登熟)を阻害してしまいます。さらに根の活力・機能の低下は、養水分の吸収能力低下の要因となり、登熟に大きな悪影響を及ぼします。→【品質低下】  
(\*但し、湯水やフェーン時は地域の水利事情に応じて、できるだけほ場が乾かないようにしましょう。)
- 早すぎる落水(出穂後25日前の完全落水)は、籾水分の過度の低下による品質の低下(胴割粒・未熟粒の発生)につながります。可能な限り、収穫間際まで飽水管理を継続しましょう!!

#### 【コシヒカリの水管理イメージ】



#### 2. 適期収穫

葉や茎の色ではなく、「籾の色」で刈取適期を判断してネ!!

- 出穂日以降の積算温度に基づく刈取適期予想【右表】を参考に作業計画を策定して下さい。今後も高温気象が続く予想となっていることから、早めにほ場ごとの籾黄化割合を観察して「黄化籾割合が85~90%程度になった時期」に収穫作業を開始して下さい!!
- 刈取適期以降は日を追って胴割粒の発生率が増加します。刈取適期から遅くとも5日以内に刈り取りできるように作業計画を策定し、乾燥機的能力に限界がある場合には、カントリーエレベーターやライスセンターの共乾施設利用により、適期刈取に努めて下さい。

× 早刈り → 未熟粒の混入増加、収量低下  
× 刈遅れ → 胴割米・着色米の増加、倒伏助長

### 3. 刈取適期予想【さんとう地区 中部版】

| 品種名     | 出穂期(予想)     | 刈取適期(予想)    | 積算温度の目安               |
|---------|-------------|-------------|-----------------------|
| ゆきみらい   | 7月18日~7月27日 | 8月20日~8月31日 | 高温年: 925°C<br>(975°C) |
| 五百万石    | 7月16日~7月22日 | 8月18日~8月25日 |                       |
| わたぼうし   | 7月21日~7月27日 | 8月23日~8月31日 |                       |
| ゆきん子舞   | 7月24日~7月27日 | 8月27日~8月31日 |                       |
| こしいぶき   | 7月23日~7月28日 | 8月26日~9月1日  |                       |
| ゆきの精    | 7月24日~7月26日 | 8月27日~8月30日 |                       |
| たかね錦    | 7月19日~7月26日 | 8月21日~8月30日 | 1,000°C               |
| こがねもち   | 7月25日~7月28日 | 8月29日~9月2日  |                       |
| コシヒカリ   | 8月2日~8月9日   | 9月7日~9月17日  | 1,000~1,050°C         |
| 越淡麗     | 8月7日~8月15日  | 9月15日~9月27日 | 1,050~1,100°C         |
| 新之助     | 8月10日~8月16日 | 9月21日~10月1日 | 1,100~1,200°C         |
| にじのきらめき | 8月1日~8月3日   | 9月12日~9月18日 | 1,100~1,200°C         |

\* 上表は、あくまでもめやすです。今後の天候やほ場ごとの出穂期・施肥量等により前後します。  
\* 上表を参考にほ場ごとの黄化籾割合を確認し、総合的に刈取適期を判断して下さい。

#### 刈取適期うちわ

ほ場ごとの「刈取適期を判定」します!!



#### 「刈り遅れ」に要注意!!

早生品種は、出穂後の気温が高く胴割粒の発生リスクが非常に高まっています。今後の気象予報と籾の黄化割合を確認しながら、収穫作業を開始してください

水稻の収穫適期は、黄化籾の割合が85~90%程度になった頃(上位3~4本目の1次枝梗に着生する2次枝梗が黄化した頃)です。

※ 栽培条件等により、収穫適期が前後します。

#### 4. 適正な乾燥・調製

農作業中の「事故・熱中症」に注意してください!!

- ◇ 収穫後は、籾を速やかに乾燥機に搬入~通風し、ヤケ米の発生を防止しましょう。
- ◇ 胴割米の発生を防止するため、乾燥機の毎時乾減水分は0.5~0.6%としましょう。0.8%を超えると、胴割米の発生率が急激に高くなります。  
→ 成熟期~収穫期の高温により、立毛胴割れが予想される場合は、毎時乾燥速度が0.5%以下になるよう送風温度を低く設定するとともに、過乾燥には十分に注意してください。
- ◇ 仕上げ水分は「14.5~15.0%」に仕上げましょう。→ 過乾燥は胴割れ・食味低下を招き、高水分玄米(15%以上)は、玄米水分の戻りによるカビ米の発生原因となります。

~~営農情報のお問い合わせは、お気軽に最寄りの営農センターへ~~  
次回稲作情報: 9月上旬「稲わら秋すき込み、土づくり」(予定)

「収穫適期を判定」↓ 適期収穫・適正な乾燥調製で「高品質米生産」を目指しましょう!!





# 稲作情報

## No.12 「登熟後期の水管理～適期刈取」

J A えちご中越 さんとう北営農センター  
TEL: 0258 (74) 3434

令和7年8月15日

登熟期の異常高温に負けない「丈夫な稲づくり」の実践を!!

### 地域の水利事情に応じ、可能な限りほ場が乾かないよう水管理を行いましょ!!

例年にない高温・多照・空梅雨の影響により稲体活力の消耗が顕著に表れました。ようやく先週より降雨が続く日もありましたが、北陸地方の2週間予報(8/16~22)では高温推移する予報となっています。「新之助」等のいもち病に弱い品種の発生に注意を払うとともに、高温障害の発生を少しでも軽減するため、以下の対策を徹底して

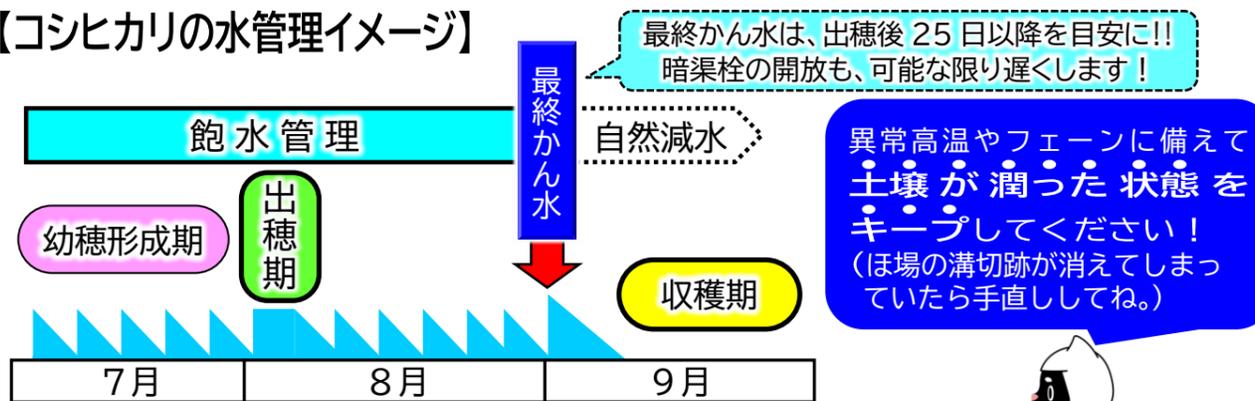
→ 「高品質米の生産」及び「収量UP」を目指しましょ!!

#### 1. 登熟後期の水管理

用水機場の運転スケジュールを確認して、計画的に「水かけ」してネ!!

- 長時間(24時間以上)のタメ水は、根の活力・機能低下を招きます。特に日中に暖まった水で湛水状態のまま夜を迎えると夜間の涼しい時間帯でも「外気温以上の水温」となり、稲体を消耗させ、養分転流(登熟)を阻害してしまいます。さらに根の活力・機能の低下は、養水分の吸収能力低下の要因となり、登熟に大きな悪影響を及ぼします。→【品質低下】  
(\*但し、湯水やフェーン時は地域の水利事情に応じて、できるだけほ場が乾かないようにしましょう。)
- 早すぎる落水(出穂後25日前の完全落水)は、籾水分の過度の低下による品質の低下(胴割粒・未熟粒の発生)につながります。可能な限り、収穫間際まで飽水管理を継続しましょ!!

#### 【コシヒカリの水管理イメージ】



#### 2. 適期収穫

葉や茎の色ではなく、「籾の色」で刈取適期を判断してネ!!

- 出穂日以降の積算温度に基づく刈取適期予想【右表】を参考に作業計画を策定して下さい。今後も高温気象が続く予想となっていることから、早めにほ場ごとの籾黄化割合を観察して「黄化割合が85~90%程度になった時期」に収穫作業を開始して下さい!!
- 刈取適期以降は日を追って胴割粒の発生率が増加します。刈取適期から遅くとも5日以内に刈り取りできるように作業計画を策定し、乾燥機的能力に限界がある場合には、カントリーエレベーターやライスセンターの共乾施設利用により、適期刈取に努めて下さい。

× 早刈り → 未熟粒の混入増加、収量低下  
× 刈遅れ → 胴割米・着色米の増加、倒伏助長

「収穫適期を判定」↓ 適期収穫・適正な乾燥調製で「高品質米生産」を目指しましょ!!

### 3. 刈取適期予想【さんとう地区 北部版】

| 品種名     | 出穂期 (予想)      | 刈取適期 (予想)     | 積算温度の目安       |
|---------|---------------|---------------|---------------|
| ゆきみらい   | 7月13日 ~ 7月16日 | 8月17日 ~ 8月24日 | 高温年: 925°C    |
| 五百万石    | 7月15日 ~ 7月23日 | 8月18日 ~ 8月25日 |               |
| わたぼうし   | 7月16日 ~ 7月23日 | 8月20日 ~ 8月28日 |               |
| ゆきん子舞   | 7月20日 ~ 7月24日 | 8月24日 ~ 8月30日 |               |
| こしいぶき   | 7月22日 ~ 7月28日 | 8月26日 ~ 9月3日  |               |
| ゆきの精    | 7月21日 ~ 7月28日 | 8月26日 ~ 9月3日  | 1,000°C       |
| こがねもち   | 7月25日 ~ 7月31日 | 8月29日 ~ 9月6日  |               |
| コシヒカリ   | 7月29日 ~ 8月7日  | 9月5日 ~ 9月16日  | 1,000~1,050°C |
| 越淡麗     | 8月7日 ~ 8月15日  | 9月17日 ~ 9月27日 | 1,050~1,100°C |
| にじのきらめき | 7月31日 ~ 8月6日  | 9月11日 ~ 9月20日 |               |
| 新之助     | 8月6日 ~ 8月15日  | 9月15日 ~ 9月27日 |               |

\* 上表は、あくまでもめやすです。今後の天候やほ場ごとの出穂期・施肥量等により前後します。  
\* 上表を参考にほ場ごとの黄化割合を確認し、総合的に収穫適期を判断して下さい。

#### 刈取適期うちわ

#### ほ場ごとの「収穫適期を判定」しましょ!!



#### 「刈り遅れ」に要注意!!

早生品種は、出穂後の気温が高く胴割粒の発生リスクが非常に高まっています。今後の気象予報と籾の黄化割合を確認しながら、収穫作業を開始してください

水稻の収穫適期は、黄化割合が85~90%程度になった頃(上位3~4本目の1次枝梗に着生する2次枝梗が黄化した頃)です。

※ 栽培条件等により、収穫適期が前後します。

#### 4. 適正な乾燥・調製

#### 農作業中の「事故・熱中症」に注意して下さい!!

- ◇ 収穫後は、籾を速やかに乾燥機に搬入~通風し、ヤケ米の発生を防止しましょ。
- ◇ 胴割米の発生を防止するため、乾燥機の毎時乾減水分は0.5~0.6%としましょ。0.8%を超えると、胴割米の発生率が急激に高くなります。  
→ 成熟期~収穫期の高温により、立毛胴割れが予想される場合は、毎時乾燥速度が0.5%以下になるよう送風温度を低く設定するとともに、過乾燥には十分に注意して下さい。
- ◇ 仕上げ水分は「14.5~15.0%」に仕上げましょ。→ 過乾燥は胴割れ・食味低下を招き、高水分玄米(15%以上)は、玄米水分の戻りによるカビ米の発生原因となります。

~~営農情報のお問い合わせは、お気軽に最寄りの営農センターへ~~  
次回稲作情報: 9月上旬「稲わら秋すき込み、土づくり」(予定)





# 稲作情報

## No.13 「土づくり」

J A えちご中越 さんとう営農センター  
TEL: 0258 (41) 2887

令和 7年9月19日

### 秋の土づくりで異常気象に負けない「丈夫な稲づくり」を実践しましょう!!

#### 1. 春先の硫化水素（ワキ）対策

近年は収穫後の再生稲（ひこばえ）や稲わらの腐熟が十分に進まないまま春を迎え、生育初期に「ワキ」が発生し、生育が抑制される傾向にあります。良質茎を早期確保し、分けつを促進させるためにも、以下の方法を実践しましょう。

##### ①稲わらの秋すき込みの実施

|             |                       |
|-------------|-----------------------|
| ① 保肥力の向上    | 土を柔らかくして、土の養分を抱える力を向上 |
| ② 不足栄養分の補てん | 地力の維持増進、土壌の改善と土質の向上   |
| ③ 初期生育の確保   | 未分解の稲わらによるワキの発生を低減    |

XXXXXXXXXX  
深くすき込みすぎると、  
分解が遅れてしまうので  
注意しましょう!!



→稲わらの分解を促進するためには、地温（15℃以上）が必要です。計画的な作業で地温の高い10月中旬までに、深さ5～10cm程度の「浅うち」で出来るだけ丁寧にすき込みましょう!!

##### ②秋すき込みと合わせた有機質資材の投入

| ★★★ ほ場の地力に合わせて有機質資材「ケイファン」を投入します! ★★★ |      |                    |          |     |     |
|---------------------------------------|------|--------------------|----------|-----|-----|
| 資材名                                   | 規格   | 使用量の目安<br>(10aあたり) | 保証成分 (%) |     |     |
|                                       |      |                    | N        | P   | K   |
| 鶏ちゃんパワー ペレット                          | 15kg | 30kg～60kg          | 4.2      | 2.9 | 2.4 |

→ケイファンに含まれる窒素の供給により、稲わらなどの有機物の分解を助ける微生物の動きを活発にする効果が期待できます。

##### ③稲わら分解促進剤の活用

★1 J Aでは、酵素の力で稲わらをしっかり分解して、「ワキ」の発生を軽減できる稲わら分解促進剤として「アグリ革命」の施用を推奨しています。

### 出来秋の気象・ほ場条件にあった「すき込み処理法」でワキの発生量を削減しましょう!!

|                        |                       |  |
|------------------------|-----------------------|--|
| ① 好天が続いて、ほ場が良く乾いている    | ⇒ 早めの「秋すき込み」でOK!!     |  |
| ② ほ場は乾いていないが、なんとか秋耕できる | ⇒ 「分解促進剤+秋すき込み」を推奨!!  |  |
| ③ ほ場が軟弱・湿田で秋耕できない      | ⇒ 収穫後の「分解促進剤の活用」を推奨!! |  |

★2 省力散布できる「細粒タイプ」(2kg/10a)、お持ちの噴霧器・スプレーヤー・ドローンなどにあわせて自由に希釈して散布できる「液剤タイプ」(100ml/10a:希釈液10ℓ～500ℓ)をほ場条件にあわせて活用してください。

～～ 営農情報のお問い合わせは、お気軽に最寄りの営農センターへ ～～

「稲わらの秋すき込み」+「もみ殻還元」+「有機質資材等の投入」で土づくり!!

#### 2. ケイ酸質の補給を行いましょ!!

ケイ酸にはいもち病等の病害虫対策のほか、受光態勢や根の活力を向上させ、倒伏防止や高温対策としても有効です。さんとう管内の有効態ケイ酸の値は新潟県の目標値 15.0mg に対して平均 10.0mg 前後と低い傾向にあります。以下の方法によりケイ酸質の補給を行いましょ!!

##### ①もみ殻の還元

水稻の収穫・刈取により、水田から10aあたり120kg程度のもみ殻が水田外に持ち出されます。持ち出されたもみ殻には、イネの組織を形成する重要な成分のケイ酸成分が20%程度含まれていて、もみ殻を水田に還元することにより、高温に強いイネづくりに寄与するとともに土壌を膨軟化して土づくりの効果も期待できます。10aあたり約250kgを上限に散布ムラが生じないように、田んぼにもみ殻を還元してあげましょ!!



##### ②資材の投入

上記のようにほ場内のもみ殻をすべて還元した場合でも、土壌中のケイ酸質は年々ほ場外に溶脱し、徐々に減少していきます。ケイ酸質資材の補充により不足しているケイ酸成分を補いましょ!!

【おすすめ資材】ニュー米スター：散布目安「10aあたり30kg」

資材にアルカリ成分が含まれているので、稲わらの分解促進にも期待できます。



©ワンジャ

#### ☆トピックス

#### 稲わらを秋にすき込むことで温室効果ガス（メタンガス）の発生量を削減できます!!

【表：稲わらすき込み処理によるメタン発生量】福島県農業総合センター

| すき込み処理法              | メタン総発生量 (g CH <sub>4</sub> /m <sup>3</sup> ) |             |            |             | E 対比         | 削減量          |
|----------------------|----------------------------------------------|-------------|------------|-------------|--------------|--------------|
|                      | 前期                                           | 中期          | 後期         | 合計          |              |              |
| A 稲わら無施用             | 1.1                                          | 1.1         | 0.6        | 2.8         | 9.2%         | 90.8%        |
| B 石灰窒素+秋すき込み         | 0.8                                          | 1.5         | 1.1        | 3.4         | 11.2%        | 88.8%        |
| <b>C 秋すき込み</b>       | <b>1.0</b>                                   | <b>3.0</b>  | <b>2.2</b> | <b>6.2</b>  | <b>20.5%</b> | <b>79.5%</b> |
| D 秋石灰窒素+春すき込み        | 4.7                                          | 5.3         | 0.9        | 10.9        | 36.0%        | 64.0%        |
| <b>E 春石灰窒素+春すき込み</b> | <b>12.4</b>                                  | <b>16.9</b> | <b>1.0</b> | <b>30.3</b> | -            | -            |

\* 前期：5/18～7/8、中期：7/9～8/11、後期 8/12～9/14

上表は、稲わらのすき込み処理法の違い（秋すき・春すき）によるメタンガスの発生量を調査したものです。E「春に石灰窒素※1（稲わら分解促進）をまいて春すき込みしたほ場」では30.3g(CH<sub>4</sub>/m<sup>3</sup>)のメタンガスが発生しているのに対して・・・

- ① B「石灰窒素+秋すき込み」の発生量は3.4g(CH<sub>4</sub>/m<sup>3</sup>)→削減量：88.8%
- ② C「無添加で秋すき込みのみ」の発生量は6.2g(CH<sub>4</sub>/m<sup>3</sup>)→削減量：79.5%
- ③ D「秋石灰窒素+春すき込み」の発生量は10.9g(CH<sub>4</sub>/m<sup>3</sup>)→削減量：64.0%

…すなわち、稲わらのすき込みを春すき込みから「C：秋すき込み」に切り替えるだけでメタンガスの発生量を約80%も削減でき、さらにB：稲わらの分解促進剤を活用することで約89%削減できます。なお、気象や圃場条件でやむを得ず秋すき込みできない場合でも、秋に分解促進剤を施用することでメタンガスの発生量を64%削減できます。  
※ 特別栽培米では石灰窒素の使用はできませんので、「アグリ革命」等の稲わら分解促進剤を代替えとしてご使用ください。

#### お知らせ【土壌分析の実施について】

例年同様、今年度につきましても稲収穫後、営農センター職員が管内ほ場の土壌を採取させていただき、土壌分析を実施いたします。分析結果に基づき水稻土壌マップの作成や技術情報として提供いたしますので、ご理解いただきますようお願いいたします。



# 水稻緊急情報



令和7年7月31日  
JAえちご中越さんとう営農センター



注意

## 令和5年を上回る葉色低下！！ 出穂期前に追加の穂肥を！！

### 過去最も品質低下を受けた令和5年以上に高温かつ雨が 少ない状況です！走り穂が出ていても追加の穂肥を！！

- (1) コシヒカリの葉色が薄いほ場では、下表を参考に、出穂期前に窒素成分 1~2kg/10a を目安に追加の穂肥を施用してください(出穂期の葉色目安: SPAD 値 33)。
- (2) 全量基肥施肥のほ場でも、葉色が薄い場合は追加の穂肥を施用してください。
- (3) 施用効果を高めるために、飽水管理を徹底しましょう。

©ワンジャ



品質向上のため、もうひと踏ん張り  
お願いします！！

#### 【 コシヒカリ 5 割減栽培における追加穂肥の目安 】

| 施肥条件             |           | 判断時期と<br>葉色値の目安                    | 残りのトータル<br>化学窒素量 | 使用肥料 例                     | 10a あたり施用目安<br>*( )内は有機含む全窒素量                |
|------------------|-----------|------------------------------------|------------------|----------------------------|----------------------------------------------|
| 分<br>施           | 3回目<br>穂肥 | 出穂期3日前<br>葉色値 31 以下                | 0.5~1.0 Nkg      | ドローン用尿素 43 ※1              | 出穂期3日前<br>1.1kg(0.5Nkg)~<br>2.3kg(1.0Nkg)    |
|                  |           | 出穂期6日前<br>葉色値 33 以下                | 0.5 Nkg          | 越後の輝き<br>有機 50 穂肥 ※1       | 出穂期3日前<br>8.3kg(1.0Nkg)                      |
|                  |           |                                    |                  | さんとう穂肥有機 ※1                | 出穂期3日前<br>4.0kg(0.56Nkg)                     |
|                  |           | 0 Nkg                              | みらい有機 831 ※2     | 出穂期6~3日前<br>12.5kg(1.0Nkg) |                                              |
| 全<br>量<br>基<br>肥 | 追肥        | 出穂期の葉色値が<br>32~33 を下回ると<br>予想されるとき | 0.5~1.0 Nkg      | ドローン用尿素 43 ※1              | 出穂期 10 日前<br>1.1kg(0.5Nkg)~<br>2.3kg(1.0Nkg) |
|                  |           | 出穂期 10 日前後<br>葉色値 30 以下            | 0 Nkg            | みらい有機 831 ※2               | 出穂期 10~5 日前<br>25kg(2.0Nkg)                  |

※1 トータル化学窒素 3.5kg/10a 以内で施用してください

※2 他の有機質 100%肥料でも代替可能です(例: 鶏ちゃんパワー など)

## 緊急告知 8/2(土)のみ、あぐりセンター臨時営業いたします!

さんとう地区ではこの度、穂肥時期の急激な葉色低下が稲に与える影響を重く受け止め、当初は各あぐりセンターの8月2日(土)~8月17日(日)の土・日・祝日の休業を予定しておりましたが、緊急対策として **8月2日(土)午前 時間帯のみ 臨時営業** いたします!

コシヒカリを中心とした中生~晩生品種の品質向上を目指し、是非ご利用ください!!

裏面のフェーン・異常高温緊急情報(新潟県)もご確認ください!

# フェーン・異常高温緊急情報 第1号

令和7年7月29日  
新潟県農林水産部

## 7月30日～8月4日は高温・乾燥のおそれ 飽水管理を継続・水分保持！

### 気象状況



- 新潟地方気象台が7月28日11時に発表した「新潟県の天気予報（7日先まで）」では、7月30日から最高気温は32～38℃、最低気温は24～28℃と高温が予報されています。
- また、台風の進路によっては高温・乾燥条件が発生するおそれがあります。

出典：気象庁ホームページ  
気象庁「台風情報・全ての台風（台風経路図）」を加工して作成  
(<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#5/35.258/143.424/&elem=root&typhoon=all&contents=typhoon>)

### 当面の管理対策

- コシヒカリは出穂期と重なり、白穂や不稔が発生しやすい時期です。こしいぶきは、変色粳や白未熟粒が発生しやすい時期です。
- 高温・乾燥条件が続く間は、可能な限り土壌が湿った状態を維持できるように飽水管理を継続しましょう。
- 水が行き渡ったら速やかに水口を止めましょう。

農作業中は、熱中症予防対策を必ず行い、健康管理に十分注意しましょう。

### 飽水管理のイメージ



**農業用水は限りある資源です。地域全体で大切に使いましょう。  
かけ流しは絶対にやめましょう。**

フェーン現象については、気象庁ホームページを参照してください。  
([https://www.data.jma.go.jp/cpd/j\\_climate/hokuriku/column01.html](https://www.data.jma.go.jp/cpd/j_climate/hokuriku/column01.html))



**注意**

6月後半より高温多照が続いていることから、コシヒカリの草丈が急激に伸長しています。それに伴い稲体活力が消耗し、**大きく葉色低下しているほ場が見受けられます。**

ほ場ごとに生育診断＝**草丈と葉色を確認**し、登熟期間の栄養が不足しないよう**しっかり穂肥施用（適期・適量）**しましょう!!（稲作情報№9 参照）

## 1. コシヒカリの生育状況（7月10日現在）

今時期が  
コシヒカリ  
生育診断の  
適期です!!



| 地区       | 田植日  | 草丈(cm)      | 莖数(本/m <sup>2</sup> ) | 葉数(葉) | 葉色          |
|----------|------|-------------|-----------------------|-------|-------------|
| 寺泊       | 5/6  | 82.9        | 442                   | 11.8  | 34.6        |
| 和島       | 5/8  | 71.1        | 444                   | 10.9  | 34.9        |
| 出雲崎      | 5/5  | 82.8        | 407                   | 12.0  | 35.2        |
| 与板       | 5/11 | 73.3        | 380                   | 10.7  | 31.6        |
| 三島       | 5/5  | 72.5        | 412                   | 11.5  | 34.4        |
| 越路       | 5/14 | 70.0        | 391                   | 11.4  | 33.6        |
| 平均       | 5/9  | <b>74.9</b> | 414                   | 11.4  | <b>34.1</b> |
| 7/10 指標値 | 5/10 | 66.0        | 450                   | 11.0  | 36.0        |

草丈が急激に伸長!!

葉色が急激に低下!!

**指標値比（差） 草丈：113%、莖数：92%、葉数：+0.4、葉色：-1.9**

- ① **【生育】** コシヒカリの出穂盛期は8月2日頃（平年より2日以上早い）となる見込みで1回目（出穂18日前）の穂肥時期は、7月15～18日頃となりそうです。
- ② **【穂肥】** 生育診断の結果、草丈が75cmを超えている場合、1回目穂肥の施用は遅め・控えめ（出穂15日前に基準量の半分程度）とします。**2回目穂肥（出穂10日前）は、基準量（N成分：1～1.5kg）をしっかりと確実に施肥します!!**
- ③ **【病虫害対策】** 管内で「葉いもち」の発生を確認しています。発病を確認したら、直ちに薬剤防除を実施してください。（裏面参照）
- ④ **【水管理】** 幼穂形成期を迎えたため、飽水管理を徹底しましょう！  
今後も高温が続くと予想されるため、溜め水による根腐れを回避します。

## 水稲の「生育診断」はJAにお任せください!!

皆さまからのご要望で現地ほ場に出向き、水稲の幼穂長や草丈・莖数・葉色等の生育を診断し、穂肥施用と栽培管理を個別に指導します。ぜひ、ご活用下さい!!

**「生育診断チーム」設置・活動期間：7月上旬～7月下旬まで**

～ 詳細につきましては、お気軽に最寄りの営農センターへお問い合わせください!! ～

|                                              |                |               |
|----------------------------------------------|----------------|---------------|
| JAえちご中越<br>さんとう営農センター 農政企画課<br>☎0258(41)2887 | さんとう北営農センター    | ☎0258(74)3434 |
|                                              | さんとう営農センター 営農課 | ☎0258(42)4133 |
|                                              | こしじ営農センター      | ☎0258(92)5606 |

裏面もご覧ください!!

## 2. 穂肥施用 ⇒ ほ場ごとの生育に合わせた穂肥を実施しましょう!!

幼穂形成期及び出穂期予想と穂肥時期・施肥量の目安 (7月10日現在)

| 品種名     | 幼穂形成期 | 出穂期   | 10a窒素成分<br>(2回の合計) | 施用時期の目安 *( )は出穂前日数 |                 |
|---------|-------|-------|--------------------|--------------------|-----------------|
|         |       |       |                    | 1回目                | 2回目             |
| ゆきみらい   | 6月24日 | 7月17日 | 5~6 kg             | 6/24 (23)          | 7/ 4 (13)       |
| 五百万石    | 6月26日 | 7月19日 | 1~2 kg             | 6/29 (20)          | 7/ 7 (12)       |
| わたぼうし   | 6月27日 | 7月20日 | 2~3 kg             | 6/28~30 (22~20)    | 7/ 8~10 (12~10) |
| ゆきん子舞   | 6月29日 | 7月22日 | 5~6 kg             | 6/27~29 (25~23)    | 7/ 8 (14)       |
| こしいぶき   | 6月29日 | 7月22日 | 2~3 kg             | 6/29 (23)          | 7/ 8 (14)       |
| ゆきの精    | 6月29日 | 7月22日 | 2~3 kg             | 6/27~7/2(25~20)    | 7/ 8~12 (14~10) |
| たかね錦    | 6月30日 | 7月23日 | 1~2 kg             | 7/ 3~ 5 (20~18)    | 7/ 9~13 (14~10) |
| こがねもち   | 7月 5日 | 7月28日 | 1~3 kg             | 7/10~13 (18~15)    | 7/18 (10)       |
| コシヒカリ   | 7月10日 | 8月 2日 | 1~3 kg             | 7/15~18 (18~15)    | 7/23 (10)       |
| にじのきらめき | 7月10日 | 8月 2日 | 2~5 kg             | 7/ 3~ 8 (30~25)    | 7/19 (14)       |
| 越 淡 麗   | 7月16日 | 8月 8日 | 2 kg               | 7/21(18)           | 7/29 (10)       |
| 新 之 助   | 7月17日 | 8月 9日 | 2 kg               | 7/19~22 (21~18)    | 7/28~30 (12~10) |

生育診断に基づく適期・適量穂肥で品質・収量 を目指しましょう!

## 3. 病害虫対策 ⇒ ほ場をこまめに巡回して「発生状況」を確認してください!!



① **【いもち病】** 6/10 梅雨入り以降、当地域の一部で「葉いもち」の発生が確認されております。

② **【紋枯病】** 今後の気象条件により、発生しやすい品種や前年に多発生したほ場では、病状・被害が進展しやすくなります。

**発病を確認したら、直ちに薬剤防除を実施しましょう!**

いもち病



| 対象病害 | 薬剤名             | 使用量・希釈倍数                          | 摘 要                 |
|------|-----------------|-----------------------------------|---------------------|
| いもち病 | カスミン液剤          | 1,000 倍                           | ※穂揃い期まで             |
|      | ゴウケツ1キロ粒剤【*】    | 1 kg/10a                          | ※出穂5日前まで            |
|      | ブラシンフロアブル・粉剤【*】 | 1,000 倍 (7077ル)<br>3~4kg/10a (粉剤) | ※収穫7日前まで<br>ごま葉枯病 等 |
| 紋枯病  | バリダシン液剤・粉剤      | 1,000 倍 (液剤)<br>3~4kg/10a (粉剤)    | ※収穫14日前まで           |
|      | リンバー粒剤【*】       | 3~4kg/10a                         | ※収穫30日前まで           |

【\*】のついている薬剤は、特別栽培米に使用できません!! ご注意ください。



**県内でカメムシが急増しています!!**

**「一斉草刈りウィーク 7月5日~7月12日」**

**斑点米カメムシ被害撲滅運動 実施中!**

カメムシ“密”  
解消じゃ!



## 4. 今後の水管理

登熟促進~品質向上には「**水管理**」が重要です!!

幼穂形成期から出穂期は、水稻が最も水分を必要とする時期となります。コンバイン収穫に支障のない地耐力を確保しながら、**飽水管理の徹底**に努めましょう!!

# 適期を逃さず中干しを開始しましょう!!



©ワンジャ

## 生育概況

4月の気象は平年と比較して日照時間が短く、軟弱気味の苗が発生する傾向にありました。  
また、5月の気温は、期間全体で平年並~やや高く推移しましたが、①4月に引続き日照時間が短いこと ②5月10~11日の強風により植え傷みが発生したこと ③気温上昇によりワキの発生が増加したことにより早生品種を中心に初期生育が遅れ、茎数は少なめとなっています。

## 技術対策

### 1 浅水管理 (水深2~3cm) による地温上昇と分げつ発生促進!

ワキの発生が多い圃場は、水の更新や夜間落水でガス抜きを実施しましょう!  
→根腐れ・生育停滞を解消!

昨年秋のひこばえ発生量が多いことも、ワキ多発生の一因と考えられます。

### 2 適期中干しによる適正生育量や品質・収量の確保!

ほ場や品種に応じた生育=茎数を確認し、遅れずに中干しを実施しましょう!  
→籾数過剰や倒伏助長の回避!



## 生育調査結果 (5月29日調査)

### ① わたぼうし

|             | 草丈 (cm)     | 茎数 (本/m <sup>2</sup> ) | 葉数 (葉)     | 移植日 |
|-------------|-------------|------------------------|------------|-----|
| 寺泊川崎        | 25.2        | 86                     | 4.8        | 5/7 |
| 与板江西        | 29.4        | 55                     | 5.1        | -   |
| 越路飯塚        | 30.0        | 90                     | 5.7        | 5/3 |
| <b>本年平均</b> | <b>28.2</b> | <b>77</b>              | <b>5.2</b> | -   |
| 平年値         | 27.7        | 106                    | 6.0        | -   |
| 平年比(差)      | 100%        | 73%                    | -0.8       | -   |

### ② ゆきみらい

|             | 草丈 (cm)     | 茎数 (本/m <sup>2</sup> ) | 葉数 (葉)     | 移植日  |
|-------------|-------------|------------------------|------------|------|
| 和島上桐        | 32.2        | 89                     | 5.4        | 5/3  |
| 三島中条        | 33.0        | 99                     | 5.4        | 5/2  |
| 越路飯塚        | 28.8        | 98                     | 6.6        | 4/27 |
| <b>本年平均</b> | <b>31.3</b> | <b>95</b>              | <b>5.8</b> | -    |
| 平年値         | 29.9        | 141                    | 6.2        | -    |
| 平年比(差)      | 105%        | 67%                    | -0.4       | -    |

### ③ こがねもち

|        | 草丈 (cm) | 茎数 (本/m <sup>2</sup> ) | 葉数 (葉) | 移植日 |
|--------|---------|------------------------|--------|-----|
| 与板江西   | 19.1    | 76                     | 4.5    | -   |
| 平年値    | 28.0    | 116                    | 5.6    | -   |
| 平年比(差) | 68%     | 66%                    | -1.1   | -   |

### ④ 五百万石

|             | 草丈 (cm)     | 茎数 (本/m <sup>2</sup> ) | 葉数 (葉)     | 移植日  |
|-------------|-------------|------------------------|------------|------|
| 出雲崎馬草       | 23.9        | 172                    | 6.9        | 4/27 |
| 寺泊戸崎        | 24.6        | 116                    | 5.4        | 5/3  |
| 三島上岩井       | 25.4        | 128                    | 5.4        | 5/3  |
| 越路浦         | 23.6        | 105                    | 6.0        | 5/3  |
| <b>本年平均</b> | <b>24.3</b> | <b>130</b>             | <b>5.9</b> | -    |
| 平年値         | 24.2        | 133                    | 5.7        | -    |
| 平年比(差)      | 100%        | 98%                    | 0.2        | -    |

### ⑤ ゆきの精

|             | 草丈 (cm)     | 茎数 (本/m <sup>2</sup> ) | 葉数 (葉)     | 移植日 |
|-------------|-------------|------------------------|------------|-----|
| 出雲崎馬草       | 26.6        | 71                     | 5.4        | 5/4 |
| 三島七日市       | 24.6        | 98                     | 5.3        | 5/3 |
| <b>本年平均</b> | <b>25.6</b> | <b>84</b>              | <b>5.3</b> | -   |
| 平年値         | 26.0        | 130                    | 5.9        | -   |
| 平年比(差)      | 98%         | 65%                    | -0.6       | -   |

### ⑥ 新之助

|             | 草丈 (cm)     | 茎数 (本/m <sup>2</sup> ) | 葉数 (葉)     | 移植日  |
|-------------|-------------|------------------------|------------|------|
| 和島日野浦       | 19.3        | 73                     | 4.2        | 5/19 |
| 与板江西        | 20.4        | 66                     | 4.4        | 5/13 |
| 越路岩田        | 14.7        | 73                     | 5.0        | 5/17 |
| <b>本年平均</b> | <b>18.1</b> | <b>71</b>              | <b>4.5</b> | -    |
| 平年値         | 23.6        | 92                     | 4.9        | -    |
| 平年比(差)      | 77%         | 77%                    | -0.4       | -    |

### ⑦ にじのきらめき

|             | 草丈 (cm)     | 茎数 (本/m <sup>2</sup> ) | 葉数 (葉)     | 移植日  |
|-------------|-------------|------------------------|------------|------|
| 和島島崎        | 18.4        | 51                     | 4.3        | 5/10 |
| 三島上岩井       | 29.5        | 89                     | 5.6        | 5/4  |
| <b>本年平均</b> | <b>23.9</b> | <b>70</b>              | <b>4.9</b> | -    |
| 平年値         | 24.5        | 103                    | 5.1        | -    |
| 平年比(差)      | 98%         | 68%                    | -0.2       | -    |

裏面の「技術対策」もご確認ください!!

# 1. 適期：中干し開始（適正生育量の確保）

品種・圃場ごとの生育量（茎数）を確認して適期に“中干しを開始”しましょう!!

(1) 中干し開始の目安 … 目標茎数(目標穂数の80%程度)を確保したら 速やかに!

| 品種名                 | わたぼうし   | ゆきみらい   | こがねもち   | 五百万石    | ゆきの精    | 新之助     | にじのきらめき |         |
|---------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 目標穂数                | 350 本/㎡ | 380 本/㎡ | 370 本/㎡ | 325 本/㎡ | 380 本/㎡ | 400 本/㎡ | 400 本/㎡ |         |
| 中干し開始の目安<br>(60 株植) | 草丈      | 28 cm   | 30 cm   | 30 cm   | 28 cm   | 30 cm   | 32 cm   | 30 cm   |
|                     | 茎数      | 280 本/㎡ | 300 本/㎡ | 320 本/㎡ | 260 本/㎡ | 320 本/㎡ | 320 本/㎡ | 320 本/㎡ |
|                     | 葉数      | 7 葉     |         |         |         |         |         |         |

※ 生育過剰になりやすい地域・ほ場では、早め（目標穂数の70%程度）の中干し開始を徹底して下さい。  
 ※ 新之助は50株植の目標茎数となっております。

向こう1カ月の天候は平年と比べて「気温：高い」「降水量：ほぼ平年並み」の予想となっております。中干し開始が遅くなり過ぎると、生育過剰による“未熟粒の増加や病害虫の発生リスク”も高まり、品質低下につながります。開始適期を逸さないよう中干しを開始して本格的な梅雨前に「地固め」しましょう!!



**中干しの「開始適期」です!!**



**茎数が多くなり過ぎたこの状態では遅すぎます!**

(2) 溝切り … 中干しの効果を高めるために、全ほ場で「溝切り」を実施しましょう!!

①溝の間隔は「最低でも10条(3.0m)に1本程度」、②溝の深さは「10cm以上」、③各溝の末端は必ず排水溝につなげましょう。作溝が不十分な場合は、再度溝切りを実施します。 \*参照:稲作情報№6

# 2. 葉いもち対策 契約栽培わたぼうしは、葉いもち防除が“必須”です!

(1) 放置してある補植苗は、いもち病の発生源となります。→ 直ちに補植苗を撤去しましょう!!

(2) いもち病の発生しやすいほ場(常発地域・基盤整備あと・大豆あと)や品種(新之助等)で、育苗箱処理剤による葉いもち防除を実施していない場合は 中干し開始前までに 予防剤による葉いもち防除を徹底しましょう。



(3) 茎数過剰は、葉いもちの発生を助長します。適期中干しにより過繁茂を防止しましょう。

|                              |             |               |
|------------------------------|-------------|---------------|
| えちご中越農業協同組合<br>☎0258(41)2887 | さんとう北営農センター | ☎0258(74)3434 |
|                              | さんとう営農センター  | ☎0258(42)4133 |
|                              | こしじ営農センター   | ☎0258(92)5606 |

(^^)/ 営農情報のお問い合わせは、お気軽に最寄りの営農センターへ (^^)/